

「みんなの『思い』が区政に反映されているまち」に向けて

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
1	区政会議	117万円	24万円	93万円	・区政会議における意見・評価を、区運営方針及び区において実施される本市事務事業に反映 ・4月 有識者会議 ・5月 戦略会議 ・7月 全体会議 ・11月 全体会議 (このほか、区政有識者会議、区政戦略会議を適宜開催)	【目標】 ・区政会議が活発に議論されていると感じる区政会議委員の割合70%以上 【達成状況】 ・未測定(参考) 区政会議において委員による意見や評価が区政運営に反映されていると感じる区政会議委員の割合66.7%(25年度)	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input checked="" type="checkbox"/> その他(区政会議委員へのアンケート調査)	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	【経費内訳(26年度)】 ・議事録作成経費 51万円 ・コピー用紙等 9万円	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・区広報紙特集号における区政会議活動報告の見直し ▲52万円(皆減) ・区政会議の開催回数の減に伴う会議経費の減 ▲41万円(65万円→24万円)	【経費内訳(26年度)】 ・印刷経費 655万円 ・新聞折込経費 424万円 ・デザイン経費 428万円 ・新聞未購読者配付経費 67万円	【事業費の増減理由】 ・議事録作成経費の減			【上記の選択理由】 <input type="checkbox"/> ・区政会議は平成25年度に条例化され、区政に対する評価や予算については区政会議で意見を聴取することになっている。 ・現在の委員の任期が平成27年9月末までであるため、次期委員の選任が必要である。 ・事業コストは区政会議の開催回数の実績を踏まえた精査により会議開催経費の縮減を図る。		
2	区広報紙の発行	1,018万円	996万円	22万円	・5月 区広報紙リニューアル ・ページ数を8ページから12ページに ・全ページをカラー印刷に ・カラーが鮮明になるよう白色度を向上した紙に ・縦書きを基本とした右開きに ・写真・イラストを多く使い、ユニバーサルデザインにも配慮した紙面に ・毎月1日発行 ・発行部数34,000部	【目標】 ・区政に関する情報が区民に届けられていると感じる区民の割合80%以上 【達成状況】 ・未測定(参考) 29.2%(25年度)	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input checked="" type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持
	【経費内訳(26年度)】 ・印刷経費 655万円 ・新聞折込経費 424万円 ・デザイン経費 428万円 ・新聞未購読者配付経費 67万円	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・入札結果による減	【経費内訳(26年度)】 ・印刷経費 655万円 ・新聞折込経費 424万円 ・デザイン経費 428万円 ・新聞未購読者配付経費 67万円	【事業費の増減理由】 ・契約実績の予算反映による減			【上記の選択理由】 <input type="checkbox"/> ・事業コストは26年度の契約実績等を踏まえ縮減を図る。 ・広報紙は新聞折込での配布とあわせて、新聞未購読世帯へは個別配送(ポスティング)を行っているが、購読者数の増加に向けた、「つなげ隊」活動時での周知等の結果、352件(平成26年4月号1,103件→平成26年10月号1,455件)のポスティング数が増加した。また、区内での広報紙の配架場所(理容店・スーパーなど)も増やし、配架数が約600部増加した。 ・「つなげ隊」による意見聴取の結果も良好であり、引き続き、「思わず手に取りたくなる」広報紙の発行に努める。		
3	区民モニター	165万円	156万円	9万円	・区民モニターを区政評価員と位置づけ、区の施策・事業に対する、多くの多様な区民の意見やニーズ、施策・事業の成果・評価などに関する情報を収集・分析し、施策・事業の企画・立案から実施など全般に渡る意思決定に役立てるために、調査を実施 ・調査回数 4回 ・調査対象者数 市民局実施(格付け1回) 1,500名(無作為抽出) 区実施 初回 1,500名(無作為抽出) 2・3回目は初回回答者	【目標】 各回の回答割合30% 【達成状況】 26年度回答割合第1回調査 19.2%	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持
	【経費内訳(26年度)】 ・アンケート調査・集計・報告書作成業務委託料 194万円 ・返信用郵便料金 5万円	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・見積り合わせによる集計・報告書作成業務委託料の減	【経費内訳(26年度)】 ・アンケート調査・集計・報告書作成業務委託料 194万円 ・返信用郵便料金 5万円	【事業費の増減理由】 ・回数減▲1回(4回→3回)等による減			【上記の選択理由】 <input type="checkbox"/> ・実施テーマを精査し、事務事業の次年度の方向性に関する調査、運営方針アウトカムの把握、市民局が実施する格付け調査の必須3項目のみ調査を実施することとしており、調査回数を4回から3回に削減する。		

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
	事業目的・概要	26予算③	27要求④	④-③					
4	あなたの声をつなげ隊	15万円	6万円	9万円	<ul style="list-style-type: none"> 区施策について、分野別に区民へ施策概要を説明し、区民の評価を意見聴取 (意見聴取内容) <ul style="list-style-type: none"> 6月 広報紙 7月 区政全般 8月 シティ・プロモーション 地域活動支援 9月 子育て支援、未来人材育成 9月 災害、防犯、安心・安全 11月以降 子育てナビ 独居高齢者等見守りサポーター 	【目標】 直接対話件数 2,000件 【達成状況】 直接対話件数 1,854件 (26年9月末現在)	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	<ul style="list-style-type: none"> 19名の区役所職員が、公園などの街角や、スーパーなどの区民の方々が集まる場所で、日ごろ区政に対して意見を言いたくても、仕事や子育てなどで発言の機会をなかなか持てない区民の方と直接1対1で対話し、ご意見やご要望を伺い、区政への関心の薄い、サイレントマジョリティの意見やニーズを的確かつ着実に把握し、区政運営に反映する。 【経費内訳(26年度)】 ・つなげ隊活動費(ポロシャツ等) 15万円	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・消耗品の見直しによる減 15万円 18万円 3万円 【事業費の増減理由】 ・消耗品の増	【意見】 ・直接区民の声を聴いてくれるつなげ隊活動は、今後も継続してほしいと思う(3件) ・つなげ隊による意見聴取への取組への評価(5件)	【意見】 該当意見なし			【上記の選択理由】 <input type="checkbox"/> ・多様な「サイレント・マジョリティ」の声を的確に把握し区政運営への反映を行うためには、区民の意見を聴き取り、評価を受けるしくみが必要であることから、事業を継続する必要がある。 【事業実施の必然性】 ・サイレント・マジョリティのご意見を直接聞き取り、区政への反映を図るためには「あなたの声をつなげ隊」による意見聴取は必須の取組である。		
5	広報板等その他広聴広報関係経費	113万円	71万円	42万円	<ul style="list-style-type: none"> 毎月2回(月初めと中旬)、ポスター一紙替えを実施。 	【目標】 ・毎月2回のポスター一紙替え 【達成状況】 ・26年4～8月:8回	<input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input checked="" type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	<ul style="list-style-type: none"> 区役所で実施するイベントなどのポスターを、まちかどの広報板に数週間掲示することで、区民の方にダイレクトに情報提供をする。 設置箇所:76箇所 実施体制:区職員(つなげ隊)8名 【経費内訳(26年度)】 ・ポスター用フィルムなど69万円 ・その他事業戦略室事務費7万円	【広報板の事故・取替え・撤去等が発生しなかったことによる減】 76万円 122万円 46万円 【事業費の増減理由】 ・転入者情報提供用手提袋の版下作成等による増	【意見】 民間のポスター掲示要望についての問合せあり(3件)	【意見】 該当意見なし			【上記の選択理由】 <input type="checkbox"/> ・事業コストは転入者情報提供用手提袋の版下作成等により増となる。 ・今年度より、広報紙・ポスター・ホームページバナーのデザイン統一化を図っており、引き続き戦略的な広報活動の一環としてポスター掲示を行っていく。 ・なお掲示物をご覧いただいた区民の方々から事業内容についての問合せもあることから、ポスター掲示は有効であると考えられる。 【事業実施の必然性】 ・興味を持った区民だけにしかご覧いただけない広報紙・ホームページとは異なり、区民のイベントなどへの興味の有無に関わらず、直接訴求できる掲示板は、重要な広報媒体の一つである。		

「未来を担う人材が育成されているまち ～日本一の文教「都市」の実現～」に向けて

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
事業目的・概要		26予算③	27要求④	④-③					
6	中高生向けインターンシップ 天王寺区に居住する中高生が、大阪市内及び周辺都市の企業・事業所等において、実践的な職業体験を積み社会で生きていく力を養うことにより、未来を担う人材を育成する。	181万円	144万円	37万円	・4月 公募型プロポーザル ・6月 受託事業者決定 ・6月～7月 参加者募集 ・7月 受講者の決定 事前研修 ・7～8月 インターンシップ実施 ・9月 事後研修 成果報告会	【目標】 自分の将来に役立つと感じる参加者の割合 70%以上 【達成状況】 89% (26年度※集計中) (10名中1名未提出)	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input checked="" type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・本事業は、若年人口が伸び続けている天王寺区から、次代の大阪、日本を担う人材を輩出することをめざし、特に意欲のある少数を対象にした事業と位置付けて実施しており、丁寧に受入先、事業者と調整しながら実施している。来年度は応募者の増加を目指して、区内在住の中高生だけでなく、区内在学で大阪市内在住の中高生までを対象を拡大し実施することを考えている。 ・なお、事業コストについてはポスター・チラシの作製の執行方法を見直すことにより縮減を図る。
		170万円	161万円	▲9万円					
7	小学生向け社会の仕組みを学ぶ体験学習 天王寺区に居住する小学生を対象に、社会の仕組みや仕事について自ら体験し、考える機会を提供することにより、未来を担う人材を育成する。	217万円	197万円	20万円	・6月 公募型プロポーザル ・7月 受託事業者決定 ・9～10月 参加者の募集 ・10月～11月 事前学習(全4回) ・11月 体験学習(2日間) ・12月～ 事後学習(全2回)	【目標】 社会の仕組みを理解できたと感じる参加者の割合 70%以上 【達成状況】 ・未測定 (参考) 社会教育プログラム 利用者の満足度 99%(25年度)	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input checked="" type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・人口減少化の中まちの未来の担い手育成は各区に共通する重要な課題であり、また、市の方針としても現役世代への重点的投資が示されている。 このような状況の中、まちづくりにかかる子どもの意識を涵養するとともに、次世代を担う広い視野を持った人材、未来の起業家を育成することは喫緊の課題であることから、継続して実施する。 ・なお、事業コストについてはポスター・チラシの作製の執行方法を見直すことにより縮減を図る。
		212万円	201万円	▲11万円					
8	英語による即興型ディベートスクール事業 ・ディベート(討論)等を通じて英語によるコミュニケーション能力を強化するとともに、留学生等との交流を通じて外国の文化についても理解・尊重できる人材を育成することを目的に、即興型ディベートスクールを実施するとともに、留学生等との交流の場を提供するほか、競技ディベート大会を開催する。	0万円	0万円	0万円	・4月 公募型プロポーザル ・5月 英語ディベートスクール公開模擬授業見学会 ・6月 受託事業者決定 ・7月 受講者の募集 ・8月 受講者の決定 ・9月 ディベートスクール開始 ※区内在住・在学(大阪市民)の中学生 ※月2回・全12回 ・10月 英語による留学生等との交流開始 ※区内在住・在学(大阪市民)の中学生 ※月1回・全6回 ・3月 成果報告会(競技ディベート大会)の開催	【目標】 ・スクール受講者、留学生等との交流(国際交流カフェ)、(仮称)天王寺区英語競技ディベート大会 合計300名以上の中高生参加 【達成状況】 ・未測定	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input checked="" type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・本事業は各区から企画提案が行われた「英語交流事業」に採択された事業である。「英語交流事業」は26・27年度の2年間のモデル事業であり、26年度の取組を踏まえ、次年度も継続的に実施することにより、区内中学校・高校と連携し、英語教育に対する気運を高めていく。 ・なお、事業コストについては26年度の実績を踏まえ縮減を図る。
		420万円	411万円	▲9万円					

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況
		25予算①	25決算②	①-②		
事業目的・概要		26予算③	27要求④	④-③		
9	子育てスタート応援事業 ・平成26年4月1日以降に誕生した天王寺区に住民票を持つ3カ月健診受診者を持つ家庭を対象に、子どもの体験・教育の機会等を提供するサービス(英語、音楽教室、託児サービス、産後育児支援等)や任意予防接種に利用できる「子育てスタート応援券」(1人1万円分、2歳の誕生日まで有効)を交付し、子育て世帯を支援する。 【経費内訳(26年度)】 ・応援券印刷・発送経費等 122万円 ・利用者向けガイドブック 136万円 ・登録事業者募集経費 88万円 ・事務局運営経費等 319万円 ・応援券支払経費 84万円(交付金) ・受託事業者選定経費等 7万円	0万円	0万円	0万円	・4月 公募型プロポーザル ・5月 受託事業者決定 ・6月 サービス提供事業者の募集開始 ・7月 サービス提供事業者の決定 ・8月 応援券配布準備(応援券印刷、ガイドブック作成など) ・9月 応援券交付、利用開始 ※3カ月児健康診査の案内発送時に申請書等を同封し、申請に応じて応援券を順次発送	【目標】 ・応援券の申請率 80% 【達成状況】 ・応援券の申請率 4月出生児分 98% 5月出生児分 94% 6月出生児分 87% (26年11月7日時点)
		756万円	929万円	173万円		
10	天王寺区子育てナビゲーション(スマホ・アプリ版) ・スマートフォンを使って、子育てに必要な情報を子育てに忙しい養育者が、いつでもどこでも手軽に知ることができる、利用者の立場に立った子育て情報を提供するため、スマートフォンアプリケーションを作成するとともに、データを原則2次利用可能なライセンスで公開しオープンデータ化することで民間事業者からの新サービス創出を図る。 【経費内訳(26年度)】 ・システム・デザイン設計、詳細設計、プログラム作成経費等 318万円 ・システム保守経費等 19万円 ・選定委員会開催経費 7万円	0万円	0万円	0万円	・7月 公募型プロポーザル ・8月 事業者決定 ・11月 アプリケーション設計・構築完成 子育て情報データベースの設計・構築完成 ・12月 試行版の公表 ・1月 アプリケーションの修正完了 ・2月 アプリケーション運用開始	【目標】 ・アプリケーションダウンロード件数 700件(26年度) 1,000件(27年度) 【達成状況】 ・未測定
		344万円	203万円	▲141万円		
11	子育て情報博覧会 子育て支援機関や子育てサービスの利用促進を図るため、子育て支援機関が子育て世帯に直接取組内容を説明する場を提供するとともに、子育ての専門家等によるワークショップを通じて子育て世帯の交流機会を提供する。 【経費内訳(26年度)】 ・専門家・保育ボランティア謝礼等 10万円 ・ポスター等印刷経費 9万円 ・参加者行事保険 2万円 ・消耗品等 3万円	0万円	0万円	0万円	・8月 企画立案 ・10月 子育て支援機関関係会議にて、企画案説明、施設参加者要請 ・11月 施設参加者集約、企画内容調整 ・1月 施設参加者に最終企画案周知 ・2月 博覧会開催	【目標】 ・参加者の満足度 80%以上 【達成状況】 ・未測定
		24万円	23万円	▲1万円		

区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input checked="" type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input checked="" type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
【意見】 ・26年9月より事業開始につき、3カ月児健康診査時に申請勧奨を行うとともに、アンケート実施により意見聴取。また、1歳時点での利用満足度アンケートを実施する。 (8月・9月実施アンケート結果)120名中95名回答 ・事業実施についての意見 ①良い80名(84.2%)②どちらでもない13名(13.7%) ③良くない及び無回答2名(2.1%) ・利用したいサービス(事業実施を「良い」と回答の80名複数回答193件) ①子どもの体験・教育等の機会を提供するサービス76件(39.4%)②任意予防接種55件(28.5%) ③子どもを預かるサービス37件(19.2%)④養育者を支援するサービス25件(12.9%) ・今後の事業展開について ①このまま継続42名(44.2%)②拡大すべき41名(43.2%)③無回答9名(9.5%)④終了すべき2名(2.1%)④縮小すべき1名(1.0%)	【意見】 ●つなげ隊 関心あり率63%・関心なし率37% 役に立つ88%・役に立たない12% ●区政会議 ・将来的には3歳や4歳まで使える券の発行は検討されないのか。	【上記の選択理由】 ・26年9月より応援券の交付を行うため、27年度は応援券の利用の増が見込めることから、事業費は増加が見込まれる。しかしながら、事務費部分は契約落ちを反映し、当初見込より削減を図る。 ・また、現在応援券が利用できるサービスは44種類であるが、利用者からは、サービスの選択肢の拡大を求める意見が多いことから、次年度以降も引き続き、サービス登録事業者の拡大に向けて周知の取組を強化していく ・また、28年度末での事業検証により事業効果が認められた場合、他区も含めた事業展開につなげる。 【事業実施の必然性】 ・就学前人口の伸び率が高い、区民の教育に対する意識が高いなどの当区の強みを更に強化するため、子どもの体験・教育等の機会の提供による、教育投資を促進することはもとより、必要な保育の提供、児童虐待の防止という本市重要課題への対応を図るためにも本事業は必要であると認識している。
【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input checked="" type="checkbox"/> その他(乳幼児健診等でのアンケート調査)	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
【意見】 ・乳幼児健診、母親教室参加者にアプリで見たい情報のアンケート聴取 226名 1269件の回答 子育て講座、イベント情報384件(30.3%) 動物園、博物館などの施設情報242件(19.1%) 保育所等子育て施設情報353件(27.8%) ・26年12月に試行版を公表する予定で、試行版利用モニターを募集しアンケート等により意見聴取予定 ・27年2月に本格運用を開始することとしており、アプリケーションをダウンロードしていただいた方よりアンケート等により意見聴取予定	【意見】 ●つなげ隊 関心あり率49%・関心なし率51%	【上記の選択理由】 ・26年度でアプリケーション設計・構築、子育て情報データベースの設計・構築が完成し、27年度はアプリケーションの運用・保守経費としては事業費は減となるが、継続したダウンロード数の確保のための、アプリ更新費用が発生する。 ・27年2月にアプリケーションを運用・開始することとしているが、ダウンロード件数の増に向けて周知徹底を図っていくとともに、利用者のニーズにかなった提供する情報の充実を図っていく。 【事業実施の必然性】 ・現在、子育てに必要な情報は区広報紙のほか、ホームページや子育ていろいろ便利帳など様々な媒体を通じた情報提供を行っているが、利用者のニーズに対応したわかりやすい子育て情報を求める子育て世帯のニーズは高く、利用者の立場に立った子育て情報を行うアプリケーションの開発・運用を行う本事業は養育者が安心して子育てしていただくためにも必要なものであると考えている。
【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input checked="" type="checkbox"/> その他(乳幼児健診等でのアンケート調査)	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input checked="" type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
【意見】 ・7月より乳幼児健診などでアンケートを実施し、子育てに関しての専門家とのワークショップで希望する内容を124名に意見聴取したところ、こどもの発達・発育に関して(29件)こどものしつけや行動等への対応を知りたい(37件)食事に関して(30件)アレルギーや病気などの医療関係について(29件)保育所や幼稚園に関すること(8件)等、152件の相談事項があった。 ・27年2月開催の博覧会会場において、参加者や事業協力者よりアンケートにより意見聴取予定	【意見】 ●つなげ隊 関心あり率37%・関心なし率63% ●区政会議 ・事業の意義がよくわからない。打ち上げ花火的に終わってしまう感じがする。	【上記の選択理由】 ・本事業は区内の子育て支援機関からの情報提供と、参加者と子育て専門家、参加者同士の交流を目的とするワークショップを一体化したイベントであり、子育ての専門家と保護者、また保護者同士が直接対話することにより、子育ての不安や悩みを解消につなげるものである。なお子育て情報博覧会の全体進行にはファンリテーションの高度なスキルを有する専門家が必要と考える。 ・なお、事業コストは印刷経費の減等により縮減を図る。 【事業実施の必然性】 ・乳幼児健診アンケートなどで子育て支援機関の情報を個別に問い合わせることの困難さが挙がっていることから、子育て支援関係機関が一同に集まり、施設やサービス内容の情報提供を行うことで、区民ニーズに答えることができる。 ・ワークショップを通じて、育児のスキルを高め、参加者同士が交流することで、子育ての孤立感の解消とともに、児童虐待の予防にもつながる。

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況
		25予算①	25決算②	①-②		
事業目的・概要		26予算③	27要求④	④-③		
12	<p>子育てナビゲーション(子育て情報紙など)</p> <p>区内子育て関係機関が集まる会議を開催し、子育て支援に関する情報共有と情報収集を促進するとともに、収集した情報を、子育てナビゲーション(スマートフォンアプリ版)やHPに活用する。</p> <p>また、子育て家庭への、状況に応じた適切な支援・相談・情報提供や、乳幼児健診の機会を利用した、子育てに関する助言・指導を行うとともに、必要に応じ家庭訪問を実施し、育児不安の軽減を図る。</p> <p>【経費内訳(26年度)】 ・情報誌等印刷経費 48万円 ・関係者会議資料郵送料等 3万円 ・カラーコピー用紙等 6万円 ・携帯電話使用料 2万円</p>	63万円	44万円	19万円	<p>・子育て応援ガイド(7,100部)年4回(4・7・10・1月発行)</p> <p>・子育て情報紙(4,000部)年2回(7・1月発行)(配架先)幼稚園、保育所、保育ママ天王寺図書館、子ども子育てプラザ、地域子育て支援センター、クレオ大阪中央、子育てサークル</p> <p>・子育て支援施設連絡会年1~2回開催</p> <p>・子育て相談・・・随時</p> <p>・子育て講座</p> <p>・9月(出前講座)</p> <p>・10月(クレオ大阪中央)</p> <p>・11月(区社会福祉協議会)</p>	<p>【目標】 利用者の満足度60%以上</p> <p>【達成状況】 未測定</p>
		<p>【予算決算の乖離理由】 ・データ修正費用の減に伴う印刷経費の減 ▲18万円(40万円→22万円)</p> <p>【事業費の増減理由】 ・情報紙などの印刷経費の減 ▲48万円(皆減) ・情報紙(MAP)データ修正 5万円(皆増) ・インクカートリッジなど消耗品費の増 3万円(6万円 →9万円)</p>	59万円	20万円		
13	<p>乳幼児発達相談体制強化事業</p> <p>・発達障がいのある子どもと養育者が、速やかに診断や医療に繋がる相談を受けることができ、早期の療育や適切な保育・教育等につながるまで、専門的な支援のもと安心して育児ができるよう保健福祉センターにおける支援体制を確保する。</p> <p>【経費内訳(26年度)】 ・臨床心理士等専門職の非常勤嘱託職員の報酬 258万円 ・交通費 22万円 ・消耗品費 1万円</p>	273万円	256万円	17万円	<p>・1歳6か月児、3歳児健診における心理発達相談</p> <p>・発達相談、4・5歳児発達障害相談</p> <p>・健診日以外の常設心理発達相談</p> <p>・育児教室</p> <p>・マタニティ教室(産後うつに関する講義)</p> <p>・地域ふれあい子育て教室</p> <p>・2歳児ことばの教室「めばえ」を開始予定(10月22日から)</p>	<p>【目標】 平成24年度相談件数(135件)を下回らない</p> <p>【達成状況】 平成25年度実績(156件)</p>
		<p>【予算決算の乖離理由】 ・市内出張の減 ▲11万円(20万円→9万円) ・心理相談員交通費の減 ▲6万円(252万円→246万円)</p> <p>【事業費の増減理由】</p>	281万円	281万円		
14	<p>発達障がいサポート事業</p> <p>大阪市立の小学校・中学校に在籍する発達障がい等のある児童生徒のうち、行動面で特に支援が必要とされるADHD等の重度な児童生徒に対し、遠足や社会見学等の校外学習や放課後の課外活動である部活動等、学校生活全般をサポートするため、発達障がいサポーターを配置する。</p> <p>【経費内訳(26年度)】 ・発達障がいサポーター賃金 295万円 ・損害保険 7万円</p>	294万円	192万円	102万円	<p>・4月 各学校へ年間のサポーター配置時間について通知し、学校にて採用開始</p> <p>採用後のサポーター活動時間について、毎月出勤簿を翌月始めに提出させ、サポーターへ給与を支給</p> <p>・サポーター活動は各学校で管理運営</p>	<p>【目標】 発達障がいサポーターの配置が必要な全ての学校に遺漏なくサポーターを配置する。</p> <p>【達成状況】 区内11校のうち、8校から採用計画の提出があった。うち、7校まではサポーターを配置できている。 残り1校はサポーターとして適切な人員が見つからない状況。</p>
		<p>【予算決算の乖離理由】 サポーター従業員日数の減に伴う賃金の減</p> <p>【事業費の増減理由】 ・サポーター従業員日数の見直しによる賃金の減</p>	302万円	293万円		

区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
<p>【聴取方法】</p> <input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input checked="" type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input checked="" type="checkbox"/> その他(乳幼児健診等でのアンケート調査)	<p>【聴取方法】</p> <input type="checkbox"/> あなたの声を上げ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	<p>【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定)</p> <p>【事業の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>【上記の選択理由】 ・27年2月運用開始予定の「子育てナビゲーション(スマホ・アプリ版)事業により、子育て情報をアプリにより入手できるようになることから、印刷物(子育て応援ガイド、子育て情報紙)の作成を見直すことにより事業費が減となる。 ・ただし、ホームページやスマートフォンアプリによる情報提供を進める一方で、パソコンやスマホを利用していない方や紙媒体での情報を望まれる方に対しては、情報紙を提供する。</p> <p>【事業実施の必然性】 ・妊娠前から出産、乳幼児期を通じて必要な子育て支援サービスを適切に提供するため、子育て支援家庭に対する適切な支援と情報提供を行う必要がある。 ・また、子育て相談は、養育者の子育ての不安の軽減を図るとともに、支援が必要な要保護児童の情報取得にも繋がることから必要であると考えている。</p>
<p>【意見】 ・今後、健診時に情報紙での情報提供についてのアンケートを実施する。</p>	<p>【意見】 該当意見なし</p>	<p>【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定)</p> <p>【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>【上記の選択理由】 ・保健福祉センター保健分野に心理相談員1名を非常勤嘱託職員として配置することで、相談機会の拡大を図り、速やかに診断や医療に繋がる相談の場が整備された。 ・目標に挙げているとおり、事業の開始前年度の実績を下回ることはないよう、要相談者のフォローを行なうこととしており、現状維持が必要と考えている。</p> <p>【事業実施の必然性】 ・全市的に発達障がい者支援施策の充実を図ることが求められる中、できるだけ早期の段階から就学前、学齢期を通じ適切な発達支援を行うことが重要であることから本事業が実施されたところである。 ・区保健福祉センターにおいて、乳幼児への継続的な行動観察や養育者との支援関係の構築、関係機関との連携を強化するため、乳幼児期からの発達障害への支援の充実及び増加する相談に対する速やかな対応など、心理相談員による専門的視点の早期発見、早期支援の継続は重要である。</p>
<p>【聴取方法】</p> <input checked="" type="checkbox"/> 参加者からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	<p>【聴取方法】</p> <input type="checkbox"/> あなたの声を上げ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	<p>【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定)</p> <p>【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>【上記の選択理由】 ・発達障がいサポーターの配置の増員や配置時間の増を求める意見が学校からある一方で、サポーターの配置を特に希望しない学校もあることから、各学校と連携を取り状況把握を行いながら、必要な予算の確保に努める。</p> <p>【事業実施の必然性】 ・学校側からの発達障がい者生徒への支援要請は強いものがある。 ・当該児童への適正な支援により学校生活の安定性を確保する。</p>
<p>【聴取方法】</p> <input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	<p>【聴取方法】</p> <input type="checkbox"/> あなたの声を上げ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	<p>【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定)</p> <p>【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>【上記の選択理由】 ・発達障がいサポーターの配置の増員や配置時間の増を求める意見が学校からある一方で、サポーターの配置を特に希望しない学校もあることから、各学校と連携を取り状況把握を行いながら、必要な予算の確保に努める。</p> <p>【事業実施の必然性】 ・学校側からの発達障がい者生徒への支援要請は強いものがある。 ・当該児童への適正な支援により学校生活の安定性を確保する。</p>
<p>【意見】 ・配置している学校の先生から、この制度があり、対象生徒への対応に大変助かっていること、できればサポーターの配置数、配置時間の増を要望する意見が3校から寄せられている。</p>	<p>【意見】 該当意見なし</p>	<p>【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定)</p> <p>【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>【上記の選択理由】 ・発達障がいサポーターの配置の増員や配置時間の増を求める意見が学校からある一方で、サポーターの配置を特に希望しない学校もあることから、各学校と連携を取り状況把握を行いながら、必要な予算の確保に努める。</p> <p>【事業実施の必然性】 ・学校側からの発達障がい者生徒への支援要請は強いものがある。 ・当該児童への適正な支援により学校生活の安定性を確保する。</p>

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
	事業目的・概要	26予算③	27要求④	④-③					
15	子育て愛あいフェスティバル 区内にある子育て支援に関係する機関、団体、子育てサークルが集り、就学前の乳幼児とその保護者、妊婦等を対象に、専門相談をはじめ、親子のふれあい、子育て中の親同士並びに地域の子育てボランティアとの交流の輪を広げ、地域のみんで支え合う子育て環境を充実するために、親子参加型の交流の場を提供する。	30万円	23万円	7万円	<ul style="list-style-type: none"> 5月 実行委員会開催 6月 フェスティバル開催 場所：区民センター 参加者 計719名 区民 475名 保護者221名 乳幼児254名 従事者等244名 8月 実行委員会開催 (実施報告) 12月 実行委員会開催予定 (次年度開催内容検討) 	【目標】 昨年の参加者の60%以上参加者の満足度が60%以上、 【達成状況】 ・参加者 H25年度比 61.8% ・昨年度は会場に比して参加者が多すぎたので(1164名)、幼稚園の舞台発表を取りやめ、ボランティア従事者数を抑えたための減 ・参加した保護者の満足度 大変良かった 47.8% 良かった 45.1%	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input checked="" type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 子育て愛あいフェスティバルは参加者が700人を超えており、また、参加者等に対するアンケート結果からは、また参加したいとの意見が多く、参加者同士の交流ができたという意見もあり、地域に定着した好評なイベントであると考えている。 ・また、従事者と子育て世帯の交流、参加者どうしの交流に役だっていることから、今後も関係機関や参加者の意見を聞きながら継続的に実施することとするが、舞台プログラム内容や準備品などの充実を図っていく。 ・なお、事業コストは、報奨金、消耗品の減などにより縮減を図る。
		26万円	24万円	▲2万円					
16	天王寺区ジュニアクラブ 学校・家庭・地域との協働により、小学4年生から中学・高校生を対象に、地域行事へのボランティア参加や施設体験などを行う天王寺区ジュニアクラブの活動を支援する。	34万円	26万円	8万円	<ul style="list-style-type: none"> 6月 子育て愛あいフェスティバル(参加者20名) 8月 天王寺消防署での防災体験(参加者15名) 10月 愛あいふれあいまつり(参加者21名) 1月 留学生との交流 3月 未定 	【目標】 ・会員数 新規登録30人以上 ・年1回以上活動に参加した会員数 70名以上 【達成状況】 ・未測定 (参考) 新規登録会員数 36人 年1回以上活動に参加した会員数 71名 (25年度)	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input checked="" type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・地域の将来の担い手の育成は長い視点で実施していく必要があり、また、地域の運営委員の方の協力を得ながら実施できており、継続的に実施していく。 ・なお、事業コストは郵送料の見直しにより縮減を図る。
		35万円	34万円	▲1万円					
17	成人の日の記念のつどい 新成人の人生の門出をお祝いするとともに、新成人として大人となったことの自覚を促すため、式典を開催する。	12万円	14万円	▲2万円	<ul style="list-style-type: none"> 10月 運営委員会 1月11日 天王寺区成人の日記念のつどい 2月 実行委員会 	【目標】 新成人のうち、成人の日記念のつどい参加者 50%以上 【達成状況】 平成25年度 参加者 58.1%	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・成人の日記念のつどいは、青少年指導員をはじめ地域の方と意見交換しながら運営方法について進めているが、成人の日にかかる式典は、実行委員会で見直しをしながら継続的に実施していく。 ・なお、事業コストは、消耗品の見直しにより縮減を図る。
		26万円	24万円	▲2万円					

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況
		25予算①	25決算②	①-②		
事業目的・概要		26予算③	27要求④	④-③		
18	青少年指導員活動	15万円	15万円	0万円	<p>・非行防止活動(統一指導ルーム)毎月1回実施 区内の各校区等において、夜間の非行防止パトロールを行い、街頭指導及び青少年に有害な環境や危険場所の把握と関係先への連絡に努める。また、必要に応じて青少年問題に関する地域啓発活動や青少年相談活動を実施</p> <p>・ユースリーダー募集活動 将来の地域ボランティア活動の核となるユースリーダーを育成</p>	<p>【目標】 非行防止活動における各校下青少年指導員の1回あたりの参加者5名以上</p> <p>【達成状況】 平成25年度 1回あたりの参加者 約8名</p>
	本市における青少年指導員制度のもと、住民との連携の下で地域における青少年の健全育成を図る。	【予算決算の乖離理由】□				
	<p>【経費内訳(26年度)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導ルーム運営に係る経費(巡視用物品) 15万円 ・ユースリーダー育成に係る経費(参加者募集ちらし) 7万円 	22万円	45万円	23万円		
		【事業費の増減理由】 区市レベルでの青少年指導員活動への補助について地域活動協議会補助金から一部移行				

区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
<p>【聴取方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他() 	<p>【聴取方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員) 	<p>【事業コストの方向性】</p> <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) <p>【事業の方向性】</p> <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの顔をよく知っている青少年指導員が巡視することで、非行や犯罪の抑止となっている。地域で活動する大人として適宜子どもに声かけを行うことで、青少年健全育成のためになればとの思いで日頃の活動を行っている。 ・区役所は指導ルームと地活協での取組みを区別しているが、青少年指導員の活動は一体的なもので、日頃の地域での取組みで子どもたちと顔を合わせているからこそ指導ルームも効果があることを理解してほしい。 ・地域のイベントでは卒業生など若いメンバーも手伝ってくれるが、ユースリーダーと名前がつくととなると躊躇される。 	<p>【意見】</p> <p>該当意見なし</p>	<p>【上記の選択理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、本市における青少年指導員制度のもと、地域住民の方の協力により青少年の健全育成を図るものであり、非行防止を目的として全区で統一日を設けて活動している統一指導ルームなど継続した取り組みが必要な事業であり、継続して取り組んでいく。 ・なお、事業コストは区市レベルでの青少年指導員活動への補助について地域活動協議会補助金から一部移行されることに伴い増となる。 <p>【事業実施の必然性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民による夜間の見回りは青少年の非行防止には有意義であり、本事業は、青少年指導員の協力を得ながら、継続して取り組んでいく必要がある。また、将来の地域ボランティア活動の核となるユースリーダーの育成についても、継続的な取り組みが必要がある。

「命を守る政策」がしっかりと進められているまちに向けて

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
19	血管年齢 知って行動 健康づくり事業	0万円	0万円	0万円	<ul style="list-style-type: none"> ・区民(成人)を対象に、壮年期世代が多く集まる、区民まつり、健康展、地域のまつり、商店街のイベント等を活用し実施 ・平成26年4月～27年3月 健康展200人、区民まつり200人、健康講座20人×9地域 ふれあいまつり100人、地域行事100人×5地域 	【目標】 自分の健康に関心をもつきっかけづくりになったという人が80%以上	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 (26年度・未定)
	区民を対象にイベント等を活用し、自身の健康に関心をもつきっかけづくりとして、血管年齢という具体的な健康状態の目安を知り、生活習慣の改善・維持を促進し、生活習慣病予防への啓発及び健康保持・増進を図ること。	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> -	【達成状況】 アンケート実施結果 区民まつり(9/14) 233人 健康展(10/4) 145人 計378人 ⇒99.7%の人が関心をもつようになった	【意見】 アンケート実施結果 区民まつり 233人 健康展 145人 計378人 ・健康に関心をもつようになった 377人(99.7%) ・わからない 1人(0.3%)					
20	独居高齢者等見守りサポーター事業 ・75歳以上の独居世帯、75歳以上の高齢者のみで構成される世帯(介護サービス利用世帯・生活保護受給世帯などを除く)でボランティア等による定期的な訪問について同意した方に対し、月1回程度、訪問を行う。	712万円	515万円	197万円	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～大江・五条・生魂・桃陽地区(265世帯) ・9月～天王寺地区(36世帯) ・11月～桃丘地区(52世帯)(未実施) ・真田山・味原・聖和地区(212世帯) (地域の見守りが始まるまでSVによる訪問を実施)	【目標】 本事業による見守り実施地域 9地域	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input checked="" type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定)
	【経費内訳(26年度)】 ・地域ボランティアリーダー報償金、保険料 239万円 ・非常勤嘱託職員報酬、交通費、出張旅費 487万円 ・研修会講師報償金 15万円 ・周知用文書発送経費等 55万円	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> 地域ボランティアリーダー報償金 ▲158万円(176万円→18万円) 実活動時間の減に伴う減	【達成状況】 本事業による見守り実施地域 6地域	【意見】 [事業の参加者] ・参加者のニーズを定量的に把握していないが、「来てもらってありがたい。」「楽しみにしている。」といった意見が寄せられている。 [事業の協力者] ・初めは緊張したが、慣れてきて話が弾みます。 ・他の地域の見守り状況について、情報交換をしたい。(2地域) ・地域ボランティアリーダーがボランティアの活動状況を把握することが大変。(1地域)					
21	天王寺区愛あいふれあいまつり ・天王寺区地域福祉アクションプランにもとづき、福祉の情報発信、障がい者・高齢者の社会参加や多世代交流を目的に、区内各種団体、ボランティアグループ、事業所、官公署で実行委員会を組織し、協働して企画・開催する。	32万円	29万円	3万円	<ul style="list-style-type: none"> ・7月 第1回実行委員会開催 実行委員会体制の確認、開催内容等を検討 ・10月 第2回実行委員会開催 開催実施項目詳細検討 前日準備・開催当日役割分担 ・10/25愛あいふれあいまつり ・11～12月 第3回実行委員会予定 実施報告と事業効果等の検証 	【目標】 ・参加者数 600人以上 ・参加者の満足度 70%以上	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定)
	【経費内訳(26年度)】 ・講師謝礼 2万円 ・ブース備品経費 11万円(コピー用紙、養生用テープ等) ・プログラム印刷経費 3万円 ・案内、ポスター郵送料6万円 ・参加者行事保険料 1万円 ・音響オペレーター経費9万円	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・プログラム印刷経費減 ▲2万円(3万円→1万円) ・参加者保険料減 ▲1万円(2万円→1万円)	【達成状況】(25年度) ・参加者数 591人 ・参加者の満足度 76%	【意見】 (参加者) アンケート回収110件 ・大変よかった・よかったが83件(76%) ・今後も開催した方が良かったが88件(80%) (運営スタッフ) ・子どもたちがとても喜んでる姿が印象的。 ・全体的に入場者は少なかった。					
	天王寺区愛あいふれあいまつり ・天王寺区地域福祉アクションプランにもとづき、福祉の情報発信、障がい者・高齢者の社会参加や多世代交流を目的に、区内各種団体、ボランティアグループ、事業所、官公署で実行委員会を組織し、協働して企画・開催する。	32万円	30万円	▲2万円	<ul style="list-style-type: none"> ・10/25愛あいふれあいまつり ・11～12月 第3回実行委員会予定 実施報告と事業効果等の検証 	【目標】 ・参加者数 600人以上 ・参加者の満足度 70%以上	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定)
	【経費内訳(26年度)】 ・講師謝礼 2万円 ・ブース備品経費 11万円(コピー用紙、養生用テープ等) ・プログラム印刷経費 3万円 ・案内、ポスター郵送料6万円 ・参加者行事保険料 1万円 ・音響オペレーター経費9万円	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・プログラムの材料費減 ▲1万円 ・音響オペレーター委託料見直し▲1万円	【達成状況】(25年度) ・参加者数 591人 ・参加者の満足度 76%	【意見】 ●つなげ隊 関心あり率85%・関心なし率15% 見守っている人が→いる22%・いない78% ●区政会議 ・見守り活動を担うボランティアが減っているが、増やすための取組はどうなっているか。 ・地域ごとの状況を学びあうための報告会を開催してはどうか。 ●区民モニター 認知度:知っている(27%)、知らない(70%)、未回答(3%) 方向性:拡大(28%)、このまま(39%)、縮小(4%)、未回答(29%)					
	天王寺区愛あいふれあいまつり ・天王寺区地域福祉アクションプランにもとづき、福祉の情報発信、障がい者・高齢者の社会参加や多世代交流を目的に、区内各種団体、ボランティアグループ、事業所、官公署で実行委員会を組織し、協働して企画・開催する。	32万円	30万円	▲2万円	<ul style="list-style-type: none"> ・10/25愛あいふれあいまつり ・11～12月 第3回実行委員会予定 実施報告と事業効果等の検証 	【目標】 ・参加者数 600人以上 ・参加者の満足度 70%以上	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定)
	【経費内訳(26年度)】 ・講師謝礼 2万円 ・ブース備品経費 11万円(コピー用紙、養生用テープ等) ・プログラム印刷経費 3万円 ・案内、ポスター郵送料6万円 ・参加者行事保険料 1万円 ・音響オペレーター経費9万円	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・プログラムの材料費減 ▲1万円 ・音響オペレーター委託料見直し▲1万円	【達成状況】(25年度) ・参加者数 591人 ・参加者の満足度 76%	【意見】 ●つなげ隊 関心あり率65%・関心なし率35% ●区民モニター 認知度:知っている(47%)、知らない(49%)、未回答(4%) 方向性:拡大(7%)、このまま(57%)、縮小(5%)、未回答(31%)					

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
事業目的・概要		26予算③	27要求④	④-③					
22	区地域福祉アクションプラン推進支援事業 ・天王寺区地域福祉アクションプランの円滑な推進に向け、推進委員会及び高齢班・障がい班・子育て班会議において、地域課題の実情把握と分析、具体的な実践についての検討を進めるための支援を行う。	12万円	6万円	6万円	・高齢班(年4回開催) ・障がい班(年4回開催) ・子育て班(年2回開催) ・拡大推進委員会(年1回開催)	【目標】 具体的取組記載の予定通り会議をおこなう。	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input checked="" type="checkbox"/> その他(会議での意見)	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区民モニター <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
		【予算決算の乖離理由】 ・研修会講師謝礼 ▲3万円(皆減) ・アクションプランリーフレット作成見直し ▲3万円(皆減)	10万円	10万円					
【経費内訳(26年度)】 ・講師謝礼 2万円 ・コピー用紙等事務費 5万円 ・案内送付郵送料 3万円									【事業実施の必然性】 ・高齢者が地域で安全に生活し、障がい者が地域で理解されるまちづくりをすすめるとともに、子どもの虐待防止や健全育成をはかるためには、どのような課題があり、どのように取り組むべきか議論する場が必要である。
23	高齢者福祉月間事業 ・市民が高齢者福祉についての関心と理解を深めるとともに、高齢者自身の社会参加意欲を高めることを目的に、毎年9月を高齢者福祉月間と定め実施 ・具体的には当該年度に100歳を迎える高齢者に対し、国からの祝い状、記念品を贈呈する。	2万円	1万円	1万円	・6月～対象者の把握 ・9月 対象者家族との調整 祝い状、記念品の贈呈(対象者 11名 持参2名 郵送9名)	【目標】 対象者全員に祝い状、記念品を贈呈する。	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
		【予算決算の乖離理由】 ・実行減に伴う郵送料の減 ▲1万円(2万円→1万円)	2万円	2万円					
【経費内訳(26年度)】 ・祝い状・記念品送付経費等 2万円									【事業実施の必然性】 ・「老人の日記念百歳高齢者に対する、お祝い状及び記念品贈呈要綱」に基づき、内閣総理大臣からの祝い状等の伝達の依頼があるため事業を実施する必要がある。
24	歯の健康展 ・歯科医師会を中心に医師会及び薬剤師会等区内の団体の協力を得て、毎年、6月第1土曜日に健康展を開催し、区民の健康意識の高揚と健康づくりの取組み推進に努めている。	5万円	5万円	0万円	・4月に「歯の健康展準備会」を開催し、健康展での催し内容や会場配置図を決定 ・5月初旬にポスター及びビラを作成して歯医者、薬店での開催周知を実施 ・本年は6月7日に区民センターにおいて午前10時30分から午後3時まで一般来場者に開場 ・入れ歯ができるまで ・歯の健康相談 ・歯ぐきの健康度判定 ・むし歯判定、咬む力の測定 ・お口の細菌の顕微鏡観察 ・ミニ講演会 ・AED・応急手当の実演 ・健康相談、薬の相談 ・福祉用具の展示と相談 ・フッ素塗布、歯磨き指導コーナー	【目標】 参加者1000名	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 参加者からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
		【予算決算の乖離理由】	5万円	5万円					
【経費内訳(26年度)】 ・ちらし作成費 5万円									【事業実施の必然性】 ・健康意識の高揚や健康づくりの推進といった普及啓発事業の一環として取り組んでいくことは必要であると考えている。
25	みんなの健康展 ・医師会、歯科医師会、薬剤師会及び関係団体が参加するみんなの健康展実行委員会を中心に10月第1土曜日に健康展を開催し、区民の健康意識の高揚と健康づくりの取組み推進に努めている。	4万円	4万円	0万円	・7月に「みんなの健康展実行委員会」を開催し、健康展での催し内容や会場配置図を決定 ・9月初旬にポスター及びビラを作成して歯医者、薬店での開催周知を実施 ・本年は10月4日に区民センターにおいて午後1時から午後3時30分まで開催 ・医師、歯科医師、薬剤師による健康相談 ・飲料水の水質検査 ・AEDを使った応急手当の実演 ・試食配布 ・アクリルたわし作り ・血管年齢測定 ・アルコールパッチテスト ・フッ化物塗布 ・感染症・食中毒の基礎知識と予防法について ・住まいの虫相談 ・舞台上の健康体操など	【目標】 参加者1000名	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 参加者からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
		【予算決算の乖離理由】	6万円	6万円					
【経費内訳(26年度)】 ・ちらし作成費 5万円 ・啓発用ポケットティッシュ等 1万円									【事業実施の必然性】 ・健康意識の高揚や健康づくりの推進といった普及啓発事業の一環として取り組んでいくことは必要であると考えている。

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性		
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見			
	事業目的・概要		26予算③	27要求④	④-③						
26	<p>がん検診周知事業(広報紙での周知)</p> <p>健康推進担当では、年間を通じて、がん検診等各種検診を実施しているが、毎月の広報紙だけでは掲載できないような検診事業トータルの説明や次年度の検診にかかる年間日程を特集した保存版を3月分広報紙に折り込み、区民の方が気軽に検診を受診していただくことを目的としている。</p> <p>【経費内訳(26年度)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区広報紙作成経費 22万円 区広報紙新聞折込 3万円 	0万円	0万円	0万円	<p>・27年3月1日 発行</p> <p>・4面構成で紙面を受診の動機づけの向上に資するよう内容を工夫</p> <p>・発行部数 34,000部</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種がん検診受診率の対前年度増 <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度天王寺区各種がん検診受診率(保健福祉センター+医療機関実施分) [平成24年度] 胃がん 4.1% [5.1%] 大腸がん 7.3% [8.2%] 肺がん 4.3% [4.2%] 子宮頸がん 21.6% [24.5%] 乳がん 13.3% [15.4%] 	<p>【聴取方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 参加者からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input checked="" type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他() <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> がん検診での電話予約の締め切り期限が広報紙に記載されていないのはおかしい。 	<p>【聴取方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員) <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 該当意見なし 	<p>【事業コストの方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) <p>【事業の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 <p>【上記の選択理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間の検診日程を掲載するだけでなく、各検診の詳しい内容、受診することの意義など、保健衛生データをも活用しながら、だれにでもわかりやすく説明することにより、一人でも多くの方に検診を受けていただきたいと考えており、限られた財源の中で、上記目的を達成するためには、区民から寄せられた声も踏まえ、紙面内容を工夫していく。 <p>【事業実施の必然性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 依然として我が国の死因別割合第一位は、がんであり、本市としても例外ではない。このため平成22年3月に健康局において「大阪市における今後のがん検診のあり方」がまとめられ、この中で設定された平成26年度の大阪市がん検診地域・職域受診率の目標値(50%)を設定。区保健福祉センターや医療機関でのがん検診受診の啓発・周知により、がんの早期発見・治療に繋がること、さらに医療費の削減ならびに健康寿命の延伸に貢献することから、引続き事業を実施する必要があると考えている。 			
		【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/>							25万円	28万円	3万円
		【事業費の増減理由】									
・積算単価の変更のため											

より多くの人に「災害対策リテラシー」を向上する事業の追求など

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
27	遊びながら防災を学ぼう～あそぼうさいin四天王寺	0万円	0万円	0万円	<ul style="list-style-type: none"> 自衛隊・消防署・警察署・企業・NPOなど多様な災害対策アクター(主体)等と連携し、子どもからおとなまで、より多くの区民が気軽に「防災」に触れる場を提供(スケジュール) 4月～12月 企画内容の検討・関係先への依頼・企画の確定 1月～2月 事業の周知 3月 事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【目標】 訓練参加者へのアンケートにおいて「今後「に活かせる」と回答する参加者の割合 70%以上 【達成状況】 未測定 	<ul style="list-style-type: none"> 【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他() 	<ul style="list-style-type: none"> 【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input checked="" type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員) 	<ul style="list-style-type: none"> 【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 (26年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・27年3月実施後、効果検証等を行い、今後のあり方について検討することとしており、27年度は実施しない。 【事業実施の必然性】 ・上記記述のとおり、27年3月実施後、効果検証等を行い、今後のあり方について検討することとしており、一旦本事業を廃止する。
	事業目的・概要	26予算③	27要求④	④-③					
28	家具転倒防止器具取付事業	352万円	177万円	175万円	<ul style="list-style-type: none"> 3月 委託事業者の募集、選定 4月～事業の周知(ホームページや広報紙、あなたの声をつなげ隊、福祉関係施設の連絡会議、高齢者食事サービスでの説明など) 4月～3月 事業実施 ※出張受付の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【目標】 家具の固定率 世帯数の80%(27年度) 家具転倒防止器具の取付け 200世帯 【達成状況】 家具の固定率 未測定(参考) 41%(25年度) 家具転倒防止器具の取付申請件数 61件(26年10月末現在) 	<ul style="list-style-type: none"> 【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他() 	<ul style="list-style-type: none"> 【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input checked="" type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員) 	<ul style="list-style-type: none"> 【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・災害発生時、命を守るためには、家具の固定は欠くことのできない取組みであることから、事業のコスト・事業の方向性とも現状維持で進めていくことが必要であるが、まだまだ広報が行き届いていない状況が見られることから、周知方法について更なる工夫を図っていく。 【事業実施の必然性】 ・今後30年間に、南海トラフ沿いで地震が発生する確率は70%程度、大阪が震度6弱以上の地震に見舞われる確率は50%程度と言われており、いずれも高い確率となっている。大規模地震発生時、家具の下敷きになって命を失うことがないよう、自身で家具を固定することが困難な区民を支援することが必要である。
	自身で家具転倒防止器具を取り付けることが困難な高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯を対象に、専門事業者による家具転倒防止器具の取付けを行い、地震発生時、家具の転倒による被害を最小限にとどめることをめざす。また、本取組みを通じて、他の自助の取組みを促すことをめざす。	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/>	【経費内訳(26年度)】	【事業費の増減理由】					
29	収容避難所整備事業	1,024万円	650万円	374万円	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時避難所の備蓄物資の充実 ・上半期 地域防災リーダー代表者会議等において備蓄物資のニーズの把握 ・下半期 備蓄物資購入にかかる入札の実施。地域防災リーダー等と協働で備蓄物資の配備、確認 ○マンション等集合住宅への備蓄物資の配備 ・上半期 マンション等集合住宅への協力依頼 ・下半期 備蓄物資購入にかかる入札の実施。覚書の締結、備蓄物資の配備 ○福祉避難所の指定 ・上半期 関係先への依頼 ・下半期 覚書の内容の協議、覚書の締結 	<ul style="list-style-type: none"> 【目標】 災害時避難所における備蓄品の充実が着実に進められていると感じる区民の割合 60% マンション等集合住宅内に物資の備蓄拠点を設置 2カ所 福祉避難所の指定 1ヶ所 【達成状況】 災害時避難所における備蓄品の充実が着実に進められていると感じる区民の割合 未測定 マンション等集合住宅内に物資の備蓄拠点を設置 3カ所 福祉避難所の指定 1ヶ所 	<ul style="list-style-type: none"> 【聴取方法】 <input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input checked="" type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input checked="" type="checkbox"/> その他(イベントでの意見聴取) 	<ul style="list-style-type: none"> 【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input checked="" type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員) 	<ul style="list-style-type: none"> 【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・備蓄物資の充実については、被災しても安心安全に生活できるよう、計画的に備蓄を進めていくことが必要であり、事業コスト・方向性とも現状維持が妥当である。 ・マンション等集合住宅への備蓄物資の配備については、徒歩で往復5分程度(半径200メートル)を目安として、その範囲内に災害時避難所等がない地域に立地するマンション等に協力を得て備蓄物資の配備を進めるものであり、前述の地域が残存する(1カ所)ため、配備箇所数を2カ所から1カ所に減らした上で、配備を継続する。 【事業実施の必然性】 ・今後30年間に、南海トラフ沿いで地震が発生する確率は70%程度、大阪が震度6弱以上の地震に見舞われる確率は50%程度と言われており、いずれも高い確率となっている。自助・共助による備蓄について啓発を進めるとともに、被災後も安心安全に生活できるよう公助としての備蓄や福祉避難所の指定を計画的に行っていくことが必要である。
	<ul style="list-style-type: none"> 地域の意見も反映しながら、大規模災害発生に備えて必要な備蓄物資の充実を図り、安全・安心なまちづくりに資することをめざす。 備蓄物資を保管するスペースを提供してくれるマンション等に、救助資器材等災害用物資を配備し、マンション等住民及び周辺住民が災害時に活用できるようにし、地域の防災力の向上を図る。 福祉避難所の指定を進め、避難行動要支援者のための避難場所の確保を図る。 	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/>	【経費内訳(26年度)】	【事業費の増減理由】					

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
事業目的・概要		26予算③	27要求④	④-③					
30	<p>地域における自助・共助力の向上支援事業</p> <p>・参加体験型の講座、イベントや集客施設における即席講座を開催し、防災リテラシーの普及を図ることを通じて、区民の自助の取組みの促進を図る。</p> <p>・地域住民参加のもと、防災マップを作成することを通じて、地域の災害関連情報を共有し、課題を見つけ、地域の防災対策を考える機会とするともに、日常的なつながりを深める機会とする。</p>	224万円	238万円	▲14万円	<p>○防災リテラシーの普及向上</p> <p>・出前講座等の実施</p> <p>・4月 広報紙、区ホームページなどにより講座の周知</p> <p>・4月～3月 随時実施</p> <p>・広報紙防災特集号の配布</p> <p>・8月 広報紙に防災特集記事を掲載・配布</p> <p>○防災マップの作成(4地域)</p> <p>・4月 地域においてマップの原稿を作成</p> <p>・4月～3月 防災マップを随時印刷・配付</p>	<p>【目標】</p> <p>・非常持出品の用意率 世帯数の80%以上(27年度)</p> <p>・災害時避難所を知っている区民の割合 80%以上(27年度)</p> <p>・出前講座実施後のアンケートにおいて「今後に活かせる」と回答する割合 70%以上</p> <p>・区広報紙の内容が防災意識の向上に役立つと感じる区民の割合 80%</p> <p>【達成状況】</p> <p>・非常持出品の用意率 未測定</p> <p>・災害時避難所を知っている区民の割合 未測定</p> <p>・出前講座実施後のアンケートにおいて「今後に活かせる」と回答する割合 100%</p> <p>・区広報紙の内容が防災意識の向上に役立つと感じる区民の割合 未測定</p> <p>(参考)</p> <p>・非常持出品の用意率 世帯数の41.2%(25年度)</p> <p>・災害時避難所を知っている区民の割合 85.1%(25年度)</p>	<p>【聴取方法】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など)</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p>	<p>【聴取方法】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊</p> <p><input type="checkbox"/> 区政会議</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)</p>	<p>【事業コストの方向性】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定)</p> <p>【事業の方向性】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>【上記の選択理由】</p> <p>・災害時、大切な命を守るためには、防災に関する知識の普及を通じて、自助・共助に取り組む区民を増やすことが必要であるが、自助に取り組んでいる区民の割合が低い状況が見られることから、引き続き、防災に関する知識の普及に取り組む。</p> <p>・防災マップについては、26年度に全地域で作成を終えることから終了し、27年度からは、災害発生時の共助を中心にまとめた各地域別の防災計画を作成することから、事業コストが増となる。</p>
		196万円	266万円	70万円					
31	<p>防災訓練事業</p> <p>・災害発生時を想定した訓練を実施することを通じて、応急対応能力の向上、連携の強化を図る。また、地域防災リーダーの育成を図り、地域の防災力の向上を図る。</p>	80万円	29万円	51万円	<p>○避難所開設・運営訓練</p> <p>・4月～5月 今年度の訓練の実施手法の検討</p> <p>・8月 訓練実施</p> <p>・9月～3月 各地域において9災害時避難所の使用方法の検討・決定</p> <p>○地域防災リーダー</p> <p>・4.8.3月 代表者会議</p> <p>・6月 全体研修会</p> <p>・2月 防災無線、機器操作訓練</p> <p>○職員研修</p> <p>・4月 緊急区本部員研修</p> <p>・9月 大阪880万人訓練</p> <p>・12月 直近参集者訓練</p> <p>・1月 大阪市震災総合訓練</p>	<p>【目標】</p> <p>・避難所開設・運営訓練の実施 1回</p> <p>・地域防災リーダーの訓練の実施 2回</p> <p>・職員研修の実施 4回</p>	<p>【聴取方法】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見</p> <p><input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など)</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p>	<p>【聴取方法】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 区政会議</p> <p><input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)</p>	<p>【事業コストの方向性】</p> <p><input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定)</p> <p>【事業の方向性】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>【上記の選択理由】</p> <p>・27年度は地域防災リーダーの改選がないため、事業コストは減となるが、災害発生時、できるだけ速やかに応急対策にあたるためには、災害を想定した訓練を実施し、課題を洗い出し、改善するという繰り返しが必要不可欠であることから、常に内容を見直しながら、取組みを継続していく。</p>
		116万円	47万円	▲69万円					

子どもの防犯等、安全・安心なまちづくり など

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
32	子ども安全指導員	0万円	0万円	0万円	・4～3月 子ども安全指導員の配置 ・週4日(月・火・木・金 9:30～17:15)に、区内の市立小学校(8校)、市立幼稚園(5園)、市立保育所(2所)の巡回警備	【目標】 子ども犯罪事案件数の対前年度比減 【達成状況】 子ども犯罪事案件数+11件(4件(24年度)→15件(25年度))	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input checked="" type="checkbox"/> その他(巡回先である学校・幼稚園等の意見)	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	・専門性を備えた警察OBを子ども安全指導員として配置し、区における子どもの安全防犯パトロール活動の充実・強化を図ることにより、子どもの安全安心確保を推進する。 【経費内訳(26年度)】 ・子ども安全指導員報酬等 313万円 ・子ども安全指導活動経費(携帯電話使用料、ベスト等) 16万円	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/>	329万円 321万円 ▲8万円	【事業費の増減理由】 ・巡回用自転車26年度購入による減			【意見】 本事業の必要性について、公立8小学校、5幼稚園、2保育所にアンケートを実施した。 ・事業の継続を希望する学校園 15学校園中14学校園 ・教職員・保護者の安心感につながっている(6件) ・抑止力となっている(5件) ・子ども安全指導員によって犯罪を未然に防ぐことができた(1件) など	【意見】 ●区民モニター 認知度:知っている(31%)、知らない(65%) 未回答(4%) 方向性:拡大(18%)、このまま(42%)、縮小(8%)、未回答(32%)	【上記の選択理由】 ・巡回警備を行っている区内の小学校等へのアンケートにおいて、専門性を備えた元警察官による巡回は、犯罪の抑止効果となっていること、保護者及び教職員の安心感の増幅に繋がっていること、不審者による声かけ事案の減少など、効果があることが明らかになったことから、事業の方向性としては現状維持で進めていく。なお、事業コストとしては、巡回用自転車購入経費について減額する。 【事業実施の必然性】 ・区内では、不審者による声かけやわいせつ行為など子ども犯罪事案等が継続して発生しており、警察署と連携した子どもの安全・見守りにつながる本取組みは必要不可欠である。
33	子どもの防犯に向けたまちづくり事業	183万円	45万円	138万円	○上半期 ・小学校1年生を対象とした安全教室の実施 ・警察署及び小学校等との協議により防犯カメラ設置箇所を確定 ○下半期 ・防犯カメラ機器の調達及び設置にかかる手続き等を行い、運用を開始 ○通年 ・小学校防犯教室の実施	【目標】 ・防犯教室終了後、防犯意識が高まった児童の割合 80% ・防犯カメラの設置 10台 ・子どもの安全が守られていると感じる区民の割合 70%(27年度) ・街頭犯罪7手口発生件数の対前年度比減 【達成状況】 ・防犯教室終了後、防犯意識が高まった児童の割合 100% ・防犯カメラの設置 10台設置予定 ・子どもの安全が守られていると感じる区民の割合 未測定 ・街頭犯罪7手口発生件数の対前年度比減 未測定 (参考) ・子どもの安全が守られていると感じる区民の割合 75.2%(25年度) ・街頭犯罪7手口発生件数 +382件(604件(24年度)→986件(25年度))	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input checked="" type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input checked="" type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持
	・防犯に関する啓発、小学生を対象とした防犯教室の実施、小学校周辺及び通学路等への防犯カメラの設置を通じて、子どもが安全で安心して学び遊べるまちをめざす。 【経費内訳(26年度)】 ・防犯カメラ経費 153万円 ・区広報紙作成経費 12万円 ・防犯教室用開催経費(コピー用紙等) 1万円	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・防犯カメラリース料入札による減 ▲102万円(121万円→19万円)	166万円 802万円 636万円	【事業費の増減理由】 ・防犯カメラ設置(30台)及び維持に伴う経費の増 551万円(152万円→703万円) ・防犯カメラステッカー表示に伴う増 90万円(皆増) ・広報紙特集号ページ数見直し等に伴う減 ▲4万円(13万円→9万円)			【意見】 ○防犯カメラの設置 ・補助制度を創設してほしい(2件) ○小学1年生を対象にした安全教室 ・良い取り組みである(8件) ○小学校防犯教室 ・警察との重複感があるため不要(1件)	【意見】 ○防犯カメラの設置 ●つなげ隊 関心あり率99%・関心なし率1% 増設など(61件/826件) ●区政会議 ・商店街で設置した防犯カメラのメンテナンスへの助成をしていただけるとありがたい ●区民モニター 認知度:知っている(37%)、知らない(60%) 未回答(3%) 方向性:拡大(47%)、このまま(25%)、縮小(1%)、未回答(27%) ○安全教室・小学校防犯教室 ●つなげ隊 関心あり率90%・関心なし率10% ●区民モニター 認知度:知っている(15%)、知らない(79%) 未回答(6%) 方向性:拡大(18%)、このまま(48%)、縮小(2%)、未回答(32%)	・防犯カメラの増設について多くの意見が寄せられていることを踏まえ、27年度は設置数を10台から30台に拡大する。 ・防犯教室は、小学校1年生を対象とした安全教室、小学校で実施する防犯教室、区民まつりで実施するミニ防犯教室(地域安全パトロール事業として実施)の3種類があるが、小学校防犯教室については、警察との重複感があるため見直しの方向で検討する。 【事業実施の必然性】 ・区内では、自転車盗等をはじめとした街頭犯罪7手口が、昨年と同時期と比べ増加傾向にあるとともに、不審者による声かけやわいせつ行為など子ども犯罪事案等が継続して発生している。警察署と連携した街頭犯罪の抑止、子どもの安全・見守りにつながる本取組みは必要不可欠である。
34	犯罪のない安全なまちづくり事業	89万円	11万円	78万円	・自転車盗防止のための「二つ目のカギ取付キャンペーン」の実施(年12回程度) ・警察の「振り込め詐欺防止キャンペーン」へ協力参加(年6回程度) ・振り込め詐欺防止啓発のためのシール及びステッカーの配付(62箇所) ・警察と連携したきめ細かな啓発活動(通年)	【目標】 街頭犯罪7手口発生件数の対前年度比減 【達成状況】 ・未測定 (参考) 街頭犯罪7手口発生件数 +382件(604件(24年度)→986件(25年度))	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 (26年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持
	・毎月のひたくり防止キャンペーンに、二つ目のカギ無料取付キャンペーンを実施する。 ・振り込め詐欺防止のために、警察の「振り込め詐欺防止キャンペーン」に協力参加し、区内の金融機関やコンビニエンスストアに対して振り込め詐欺防止啓発のためのシールやステッカーを配付する。 【経費内訳(26年度)】 ・ワイヤーロック 15万円 ・振り込め詐欺対策ステッカー及びシール 9万円	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・防犯パトロール活動の装備品の支援及び青色防犯パトロールの支援費用の減 ▲59万円(皆減)	24万円 0万円 ▲24万円	【事業費の増減理由】 ・事業の廃止による減 ▲24万円(皆減)			【意見】 ○2つ目のカギ無料取付キャンペーン ・警察署と合同で実施しているキャンペーン実施現場における意見 参加者から、良い取り組みであるというご意見と二つ目の鍵は不要と断るとのご意見を頂いた。(それぞれ月1～2件)	【意見】 ○2つ目のカギ無料取付キャンペーン ●つなげ隊 関心あり率23%・関心なし率77% ●区民モニター 認知度:知っている(13%)、知らない(83%) 未回答(4%) 方向性:拡大(13%)、このまま(31%)、縮小(24%)、未回答(32%)	・警察から入手した自転車盗被害の状況に関するデータから、発生多発場所が駐輪場であること、キャンペーン参加者と被害者の年齢層が異なること、被害の多くが二つ目の鍵を施錠していないことによることなどが明らかになったことから、より効果的な手法を検討するため、一旦本事業を廃止する。 【事業実施の必然性】 ・街頭犯罪7手口は、昨年と同時期と比べ増加傾向にある。区民の安全・防犯意識の高揚を図り、犯罪のないまちに向け継続的な被害件数を減らすためには、区民自らが被害に遭わないための対策を講じることも重要であることから、事業実施の必要性はあるものの、上記記述のとおり、より効果的な手法を検討するため、一旦本事業を廃止する。

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
事業目的・概要		26予算③	27要求④	④-③					
35	自転車利用適正化事業「Do!プラン」	586万円	307万円	279万円	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車対策にかかる啓発などを地域、学校、企業との協働により行う「ゆめまちロードOSAKA事業」を3駅で実施 ・自転車適正利用に係る地域との協議会2回 ・小学校4年生を対象とした自転車免許講習会の開催 8小学校 ・有償サイクルサポーターを配置し、区内の8鉄道駅周辺において、放置自転車に対する指導・啓発及び整理等の実施(通年) 	【目標】 ・区内鉄道駅周辺の放置自転車台数 100台(28年度) 【達成状況】 ・区内鉄道駅周辺の放置自転車台数 21年2月 2,692台 22年2月 742台 23年2月 369台 24年2月 261台 25年2月 252台 26年2月 209台	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input checked="" type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・自転車利用マナーについては、その向上を図ることを望む意見が多く寄せられており、利用者に対する意識啓発の取組みを強化していく。 ・自転車免許講習会については、小学校1〜3、5、6年生は小学校と警察で実施されている。未来わがまち会議の取組みとして小学校4年生のみ区役所が関与してきたが、今後は警察において一体的に取り組む方向で見直しを進める。 【事業実施の必然性】 ・25年中の区内の自転車事故発生件数は193件で、前年に比べ27件減少したものの、依然として多い状態である。また、自転車のマナーの向上を望む意見が多く寄せられている。区民の安全に関わることであり、警察署と連携して、区役所としては、利用者のマナーの向上にかかる取組みの強化を図る。 ・駅周辺の放置自転車は、通行や火災などの災害時の救助活動の妨げとなることから、区民との協働及び関係局との連携により、放置自転車台数の削減に継続して取り組む必要がある。
	【経費内訳(26年度)】 ・有償サイクルサポーター委託経費 246万円 ・JR寺田町西側地域自転車利用適正化協働パートナー委託経費 120万円 ・ゆめまちロードOSAKA啓発活動経費(啓発ティッシュ等) 20万円	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・有償サイクルサポーター委託料の入札による減 ▲217万円(477万円→260万円) ・自転車マナーアップチラシのポスティングによる減 ▲52万円(皆減)	386万円 382万円 ▲4万円	【事業費の増減理由】 ・自転車免許講習会の見直しによる減 ▲9万円(皆減) ・自転車マナー啓発用品の見直しによる減 ▲3万円(皆減) ・自転車マナーの啓発強化(広報紙・ポスターの作成)による増 6万円(皆増)					
36	交通安全啓発事業	24万円	19万円	5万円	<ul style="list-style-type: none"> ・早期街頭啓発2回(4月、9月) ・天王寺区民大会開催2回(4月、9月) 	【目標】 ・春・秋の早期街頭啓発及び区民大会への参加者数 延べ500名 【達成状況】 ・春・秋の早期街頭啓発及び区民大会への参加者数合計 延べ305名 ※秋の早期街頭啓発については、雨天により中止。	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input checked="" type="checkbox"/> その他(所轄警察署)	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・年に2回、「天王寺区民大会」を開催し、交通安全に功績のあった方への表彰や交通安全教室を実施している。しかしながら、参加者の大多数が表彰者であり一般参加者が非常に少ないことから、抜本的に事業コスト及び手法を見直す。 【事業実施の必然性】 ・25年中の区内の交通事故発生件数は555件で、前年に比べ48件減少したものの、依然として多い状態である。これまでの事業手法は見直すものの、警察署と連携した交通事故防止に向けた取組みを行うことは必要である。
	【経費内訳(26年度)】 ・区民大会開催経費(啓発ティッシュ、コピー用紙等) 26万円 ・区民大会案内郵送料等 3万円	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・啓発物品の単価及び数量見直しによる減 ▲5万円(21万円→16万円)	29万円 19万円 ▲10万円	【事業費の増減理由】 ・啓発物品(エコバック)の購入見直しによる減 ▲7万円(皆減)					
37	地域安全パトロール事業	77万円	34万円	43万円	<ul style="list-style-type: none"> ・地域安全パトロール(通年) ・小学校、幼稚園、保育所等の周辺巡視、公園、道路の点検、違反広告物の除去など ・9月 区民まつりで子どもとその保護者に安全に関する意識啓発(防犯ミニ教室)を実施 	【目標】 ・子ども犯罪事案件数の対前年度比減 ・街頭犯罪7手口発生件数の対前年度比減 【達成状況】 ・子ども犯罪事案件数+11件(4件(24年度)→15件(25年度)) 街頭犯罪7手口発生件数 ・未測定(参考) +382件(604件(24年度)→986件(25年度))	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・区内では、自転車盗等をはじめとした街頭犯罪7手口が、昨年と同時期と比べ増加傾向にあるとともに、不審者による声かけやわいせつ行為など子ども犯罪事案等が継続して発生していることから、街頭犯罪の抑止、子どもの安全・見守りにつながる本事業については現状維持とする。なお、事業コストについては、携帯電話の使用料について、実績に応じた見直しを行う。 【事業実施の必然性】 ・区内では、自転車盗等をはじめとした街頭犯罪7手口が、昨年の同時期と比べ増加傾向にあるとともに、不審者による声かけやわいせつ行為など子ども犯罪事案等が継続して発生しており、警察署と連携した街頭犯罪の抑止、子どもの安全・見守りにつながる取組みが必要不可欠である。
	【経費内訳(26年度)】 ・安全パトロール活動経費(ベスト、帽子など) 16万円 ・連絡用携帯電話使用料 31万円 ・安全パトロール用自転車経費 19万円	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・携帯電話の使用月数の減に伴う減 ▲20万円(30万円→10万円) ・消耗品の数量見直しによる減 ▲9万円(20万円→11万円)	66万円 56万円 ▲10万円	【事業費の増減理由】 ・携帯電話料金の実績の反映による減					

歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまちに向けて

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
38	天王寺真田幸村博 ・大阪冬の陣から400年にあたるシンボルイヤーに、天王寺区にゆかりの深い戦国武将真田幸村をテーマに、様々なイベントを開催し、天王寺区の歴史・文化等観光的魅力を広く発信する。 【経費内訳(26年度)】 ・実行委員会開催分担当 520万円 (会場設営、広報等)	259万円	254万円	5万円	<ul style="list-style-type: none"> 5月4日 プレイベント(天王寺公園) 11月1日 冬の陣コアイベント(真田山公園) 平成27年5月～6月(1～2日程度) 夏の陣コアイベント(真田山公園ほか) 平成27年10月～11月(1～2日程度) ファイナルイベント(天王寺公園ほか) その他、2年間に各種サブイベントの開催 	【目標】 ・天王寺公園周辺ならびに区内への来訪者数が増えたと感じる区民の割合 70% 【達成状況】 ・未測定 (参考) プレイベント(26年5月)来場者数 約25,000人 コアイベント「真田丸の陣」(26年11月)来場者数 約4,000人	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input checked="" type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input checked="" type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・平成27年は大阪夏の陣より400年を迎える年であり、平成26年度に開催した5月の幸村博プレイベント、11月の「真田丸の陣」に続き、27年度も5月～6月に夏の陣コアイベント、10月～11月にファイナルイベントを開催することとしている。 ・事業コストについては、事業費の精査に伴い縮減を図る。 【事業実施の必然性】 ・大阪府市統合本部で策定された「ランドデザイン・大阪」において天王寺公園を含む「なんば・天王寺・あべのエリア」は本市の中でも重要な集客ポイントとして位置づけられている。 ・このエリアは他のエリアにはない、歴史・文化・賑わいなどのストックを有しており、「多様な価値を創造する大都市・大阪」の実現のためには、このストックを民間との協働で最大限活用し、魅力を備え付けるアクションが欠かせない。 ・平成26年～27年度は大坂の陣400年となる節目の年であり、これを機に歴史のまち天王寺というブランドを構築する良い機会であり、これを契機に、区内の活性化を図り、今後の天王寺区の観光戦略を組み立てていく基礎となると考えている。
		【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/>	520万円 500万円 ▲ 20万円 【事業費の増減理由】 ・実行委員会分担当金の減	【意見】 11月のコアイベント以降にSNSを活用して意見聴取を行う予定。 【意見】 ●つなげ隊 興味あり率61%・興味なし率39% ●区政会議 ・地域の理解を深めるために、地域の方にもっと手伝ってもらってはどうか。その際は、具体的に何を手伝ってほしいのか示してほしい。 ・もっと積極的に取組んでほしい。 ●区民モニター 認知度:知っている(43%)、知らない(55%) 未回答(2%) 方向性:拡大(8%)、このまま(39%)、縮小(18%)、未回答(35%)					
39	天王寺区ビジネスプランコンテスト 天王寺区のビジネスプランコンテストを開催し、天王寺区内で起業を促進するとともに、起業支援スペースなど区内での起業活動の拠点の充実を図ることなどにより、将来起業を志す優れた人材を育成する。 【経費内訳(26年度)】 ビジネスプランコンテスト開催経費 ・コンテスト運営経費 185万円(企画運営、参加者募集など) ・選定委員会等経費等 7万円	0万円	0万円	0万円	<ul style="list-style-type: none"> 10月 公募型プロポーザル 11月 受託事業者決定 12月 ビジネスプランコンテスト参加者の募集開始 1月 ビジネスプランコンテスト参加者の決定 2～3月 ビジネスプランコンテスト開催 	【目標】 ・ビジネスプランの応募 5件以上 【達成状況】 ・未実施	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・地域経済の活性化を図るため、新規事業の創出やその担い手の人材育成が重要な課題となっており、起業を促進する事業として、ビジネスプランコンテストが有効な手段と考えられるため、引き続き事業を実施する。 ・なお、事業コストについては、26年度で実施する起業支援スペースを提供可能な企業・寺社等の調査の減に伴い縮減を図る。 【事業実施の必然性】 ・天王寺区は、天王寺駅、近鉄上本町駅などのターミナル駅、谷町筋、千日前通といった大道路があり、奈良方面・和歌山方面から大阪への玄関口にあたる。また通勤・通学者が集まり昼間人口も大きく、また、子育て世帯や若手といった特定の層が多く居住していることから、新しい事業をスタートアップする環境として適している。そのポテンシャルを活かし、地域経済の活性化を図るため、天王寺区内で将来起業を志す優れた人材を育成する必要がある。
		【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/>	192万円 174万円 ▲ 18万円 【事業費の増減理由】 ・起業支援スペースを提供可能な企業・寺社等の調査業務の減	【意見】 ・27年3月にビジネスプランコンテストの参加者にアンケートを実施することにより意見聴取予定 【意見】 該当意見なし					
40	JR天王寺駅北エリアのまちづくりデザインコンペ 大阪の南の玄関口であるJR天王寺駅北口及び周辺地区の地域ビジョンの確立に向け、25年度の調査検討をもとにデザインコンペを実施し、実現性のある地域活性化策を検討する。 【経費内訳(26年度)】 ・コンペ開催にかかる事務経費(コピー用紙など) 27万円 ・ちらし、ポスター印刷経費 9万円 ・コンペ選考委員謝礼等 15万円	0万円	0万円	0万円	<ul style="list-style-type: none"> 25年度の「JR天王寺駅北地区の活性化まちづくり調査検討事業」の結果をもとに、当該地域内の商店会からの意見聴取や、企業等関係各所に実施したアンケート内容から、デザインコンペの手法は見送り、別の手法での地域ビジョン確立に向け検討 	【目標】 ・まちづくりデザインコンペの提案 10件以上 【達成状況】 ・未実施 (参考) デザインコンペ以外の手法による商店街の活性化が課題であることから、まちづくりに対する地域住民やまちづくり関連事業者からの意見の聴取を行う。	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 (26年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・「JR天王寺駅北地区の活性化まちづくり調査検討事業」結果をもとに、事業者へアンケートを行ったが、まずは地元地権者の合意形成が課題であることがわかり、今後中長期的な検討が必要となったため。 【事業実施の必然性】 ・ターミナル駅に直結しているにも関わらず、開発が進んでおらず、防犯や安全管理などの面からの対策が必要であり、引き続き検討していく必要があると認識している。
		【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/>	51万円 0万円 ▲ 51万円 【事業費の増減理由】 事業手法の再構築による減	【意見】 事業者約61社に実施したアンケート調査から ・当該地区の現状を知っていた 21/25件 ・当該地区の今後の活性化策に関心がある 21/25件 意見 ・初期段階に地域の総意をまとめる必要あり。 ・同地区のポテンシャルは高い。 ・利権者との同意形成が課題 ・長期化すると事業者としては介入しにくい。			【意見】 該当意見なし		

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
	事業目的・概要		26予算③	27要求④	④-③				
41	上町台地周遊マップ	24万円	22万円	2万円	<p>・年度内に10000部の上町台地周遊マップを増刷し、区民や関係各所に配布、配架</p> <p>・26年度配架依頼箇所 26箇所</p>	【目標】 配布数10,000部	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input checked="" type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定)
	<p>大坂の陣400年を契機に天王寺区の魅力を発信するとともに、多くの人が文教のまち天王寺に集まる賑わいのあるまちづくりを行うため、大阪城から繋がる天王寺区の名所を武将にちなんで紹介し、まち歩きにも使えるマップを作成する。</p> <p>【経費内訳(26年度)】 ・周遊マップ印刷経費 24万円</p>	<p>【予算決算の乖離理由】<input type="checkbox"/></p> <p>契約落ちによる減</p>	<p>24万円</p> <p>24万円</p> <p>0万円</p>	<p>【事業費の増減理由】</p>		<p>【達成状況】 残数2,500部 (26年10月現在)</p>	<p>【意見】 配架依頼先や、直接窓口に取りに来られた方の意見 ・配架先から、「解説付きでわかりやすく、概ね好評。すぐなくなるので、追加配架をお願いしたい」等の意見をいただく。 ・受け取った方から「街歩きに使いやすい」「女性でも手に取りやすい」などのご意見を頂く。 ・外国語版があってもいいのではないかと。</p>	<p>【意見】 該当意見なし</p>	<p>【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p>
42	天王寺蕪収穫祭	38万円	13万円	25万円	<p>・12月6日(土)に天王寺公園、JR天王寺駅、あべの地下センター周辺を使用し、浪速伝統野菜の「天王寺蕪」を紹介するイベントを開催</p>	【目標】 ・初めて参加した人の割合 40%以上(26年度)	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 (26年度・未定)
	<p>大坂の陣400年を契機に天王寺区の魅力を発信するとともに、多くの人が文教のまち天王寺に集まる賑わいのあるまちづくりを行うため、大阪の陣のあとに天王寺で栽培され評判となったなにわ伝統野菜の「天王寺蕪」を広く紹介するイベントを開催する。</p> <p>【経費内訳(26年度)】 ・天王寺蕪収穫祭開催経費(音響設備、テントレンタル、天王寺蕪、カップ・皿など) 43万円</p>	<p>【予算決算の乖離理由】<input type="checkbox"/></p> <p>・プラスバンド出演が無かったことによる、楽器の搬送費の減 ・音響設備を無料借用することによる減</p>	<p>43万円</p> <p>0万円</p> <p>▲ 43万円</p>	<p>【事業費の増減理由】 ・事業の再構築による減</p>		<p>【達成状況】 未測定</p>	<p>【意見】 開催後に事業協力者(寺院関係者等)にアンケートを実施予定。</p>	<p>【意見】 ●つなげ隊 興味あり率64%・興味なし率36% ●区民モニター 認知度:知っている(13%)、知らない(83%) 未回答(4%) 方向性:拡大(3%)、このまま(48%)、縮小(11%)、未回答(38%)</p>	<p>【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持</p>
43	お寺のまちdeキャンドルナイト	65万円	46万円	19万円	<p>・11月28日(金)～29日(土)に天王寺七坂周辺及び下寺町周辺で開催</p>	【目標】 ・初めて参加した人の割合 40%以上(26年度)	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input checked="" type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input checked="" type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 (26年度・未定)
	<p>大坂の陣400年を契機に天王寺区の魅力を発信するとともに、多くの人が文教のまち天王寺に集まる賑わいのあるまちづくりを行うため、天王寺区の大きな魅力の一つである天王寺七坂と、400年以上続く寺町の風情を広く情報発信できるイベントを開催する。</p> <p>【経費内訳(26年度)】 ・お寺のまちdeキャンドルナイト開催経費(キャンドルライト、キャンドルカップ・皿など) 50万円</p>	<p>【予算決算の乖離理由】<input type="checkbox"/></p> <p>・職員がイベントの準備を直接実施したことに伴う減</p>	<p>50万円</p> <p>0万円</p> <p>▲ 50万円</p>	<p>【事業費の増減理由】 ・事業廃止による減</p>		<p>【達成状況】 未測定</p>	<p>【意見】 事業協力者(寺院関係者)からの意見(H25年度) ・来年度も開催したほうがよい 86%(7/8人) ・寺院が一つの共通のコンセプトの元に参加し、天王寺区の地域活性化とPR効果が出た。 ・キャンドルの灯が幻想的で綺麗だった。クリスマスキャンドルと異なり、寺町にふさわしい柔らかな光が良かったと思う。 ・開催告知をもっと早めにやってほしい。 ・もう少し仕掛けがほしい。 ・イベント終了後振り返り反省し次回に活かしてほしい。 ・寒い冬場の開催は、どうかと思う。</p>	<p>【意見】 ●つなげ隊 興味あり率72%・興味なし率28% ●区政会議 ・今後も積極的に取り組んでほしい。 ●区民モニター 認知度:知っている(32%)、知らない(65%) 未回答(3%) 方向性:拡大(9%)、このまま(42%)、縮小(15%)、未回答(34%)</p>	<p>【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持</p>

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
事業目的・概要		26予算③	27要求④	④-③					
44	吹奏楽フェスティバル	100万円	46万円	54万円	<p>・12月21日(日)に区内12校の吹奏楽部の参加によりクレオ大阪中央において開催予定。当日プログラムの表紙デザインは美術部、当日の司会者は放送部から参加者を募集</p> <p>【目標】 ・初めて参加した人の割合 60%以上(26年度)</p> <p>【達成状況】 ・初めて参加した人の割合 131/264人(50%)(25年度)</p>	<p>【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()</p> <p>【意見】 来場者からの意見(H25年度) ・翌年度の開催希望 255/263人(97%) ・各学校自信と力強さを感じる。 ・毎年スキルアップしている。 ・ふだん吹奏楽を聴く機会がないのでよかった。 ・観客、演奏中の私語、立ち歩きマナーよくない。 ・学校の入れ替え、もっとスムーズにしてほしい。</p>	<p>【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)</p> <p>【意見】 ●つなげ隊 興味あり率66%・興味なし率34% ●区民モニター 認知度:知っている(31%)、知らない(65%) 未回答(4%) 方向性:拡大(7%)、このまま(56%)、縮小(6%)、未回答(31%)</p>	<p>【事業コストの方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定)</p> <p>【事業の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>【上記の選択理由】 ・平成11年から開催し、今年で15回目を迎える恒例行事となっている。来場者アンケートでも、引き続き開催してほしいとの声も多くいただいております。アンケート等の意見も参考にしながら、引き続き開催したいと考えています。</p> <p>【事業実施の必然性】 ・本市で最多の高等学校生徒数を誇る文教のまち天王寺区の特徴を活かし、区内の中学生・高校生に本格的なホールでの演奏の場を提供することにより、わがまち天王寺区への愛着心を育み、青少年の健全育成につなげるとともに、区民にも気軽に吹奏楽鑑賞の機会を提供する場として、今後も継続して開催すべきものと認識している。</p>	
	<p>大坂の陣400年を契機に天王寺区の魅力を発信するとともに、多くの人が文教のまち天王寺に集まる賑わいのあるまちづくりを行うため、文教のまち天王寺の特徴の一つである学校の集積を活かし、区内の公立・私立の中学校・高等学校の吹奏楽部が集う吹奏楽フェスティバルを開催する。</p> <p>【経費内訳(26年度)】 ・吹奏楽フェスティバル開催経費(楽器運搬料、損害保険料、舞台スタッフ経費、会場使用料など) 116万円</p>	<p>【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> 会場使用料の免除に伴う減</p>	<p>116万円</p>	131万円					15万円

市政改革プランに基づく「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
事業目的・概要		26予算③	27要求④	④-③					
45	地域活動協議会への財政的支援 ・概ね小学校区等地域を単位として、地域課題に対応するとともに地域のまちづくりを促進することを目的として形成された連合組織である地域活動協議会の各種活動に対し、補助金を交付する 【経費内訳(26年度)】 ・補助金 活動費補助金 1,130万円 運営費補助金 439万円 ・事務説明会 用紙コピー代等 9万円 意見交換会等食糧費 1万円 ・地域活動協議会周知啓発用 広報紙による周知 13万円 チラシ等郵送代 3万円 ・防災訓練・ハトール備品48万円 ・街路防犯灯電気代 92万円 ・協議用会館使用料 9万円	1,594万円	1,424万円	170万円	・26年2月 各地域活動協議会からの補助金申請 ・各地域活動協議会における活動事業の減に伴う補助金の減 ・4月 各地域活動協議会に対する補助金交付 ・4月～27年3月 各種地域活動の実施 ・27年4月 26年度事業の精算・効果検証	【目標】 ・地域活動協議会活動に対して中間支援組織による支援が役立ったと感じる地域活動協議会の割合 60%以上 【達成状況】 ・未測定	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input checked="" type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・自律的な地域のまちづくりの推進のために、中間支援組織と連携し、円滑な会計処理の支援等引き続き行っていく。 ・会計処理が煩雑である等、地域からのご意見があることから、中間支援組織作成の会計マニュアルを活用し、会計処理に関する個別相談に応じるとともに、会計に関する研修会等を開催し、支援の充実を図っていく。 ・なお、地域活動協議会の広報活動についても、チラシ・ポスターのひな型の作成や、HP制作支援等、引き続き中間支援組織による支援を実施していく。 【事業実施の必然性】 ・地域コミュニティ機能の低下により、地域社会が抱える課題は、より一層複雑・多様化しており、地域のまちづくりを推進することを目的として形成された連合組織である地域活動協議会の各種活動を支援することで、身近な地域単位での地域課題への対応とともに、自律的な地域のまちづくりの推進が期待できると認識している。
		1,744万円	1,691万円	▲ 53万円					
46	地域重要課題担い手発掘事業 ・防災や防犯、地域福祉、人材育成等、様々な地域課題の解決に資する、実現可能性の高い企画や取組みを広く募集し、専門家等により形成された選定委員会において、最も優れた企画や取組みを選定し、その実施を本市事業として委託することにより、行政・既存団体の枠を超え、地域課題の解決を図ることをめざす。 【経費内訳(26年度)】 ・提案事業委託経費(2件) 25万円 ・事業者選定経費 委員謝礼 7万円 ・事業者公募事務費 チラシ等消耗品 4万円	33万円	25万円	8万円	・6月 公募開始 ・8月 選定委員会 事業者決定・契約締結 事業開始 (国際交流体験) ・10月 お寺でハロウィン 女性の新たな就労支援 ・11月 座談会、講演会 ・12月 ワークショップマルシェ1 ・3月 ワークショップマルシェ2 ・3月 事業実施報告	【目標】 ・今後、同様の地域活動に協力したいと回答した参加者の割合 80%以上 【達成状況】 ・未測定 (参考) 78.9%(25年度) ※公園樹の保全 92.8% ※子育て 64%	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・25年度実施事業において、新たな担い手の確保は1名に留まり、26年度実施事業においては、応募件数は昨年度を下回っている現状ではあるが、地域の課題解決及び担い手の発掘は、各種活動のきっかけづくりの支援を行うことで、その活動が広がる可能性があることから、継続して取り組む。 ・事業コストについては、消耗品の見直しにより縮減を図る。 【事業実施の必然性】 ・地域では、様々な課題を抱えており、地域活動協議会においても積極的に各種取組がなされているが、多種多様な地域課題を抱える中、NPOや小規模グループなど担い手の多様化を図ることで、地域課題の解決や担い手の新たな発掘につながる取組を行うことは必要である。
		36万円	31万円	▲ 5万円					
47	地域重要課題担い手発掘事業 (コミュニティ・ビジネス) ・防災や防犯、地域福祉、人材育成等、様々な地域課題の解決に資する、実現可能性の高い企画や取組みを区内の地域活動協議会及びNPOを対象に募集、当該団体に実施してもらうことにより地域課題の解決を図る。 【経費内訳(26年度)】 ・選定委員会関係経費 6万円 ・広報費 6万円 ・事業委託料 30万円	0万円	0万円	0万円	・実施見送り	【目標】 ・今後、同様の地域活動に協力したいと回答した参加者の割合 80%以上 【達成状況】 ・未測定 (参考) 78.9%(25年度) ※公園樹の保全 92.8% ※子育て 64%	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 (26年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・地域課題の改善を地域が主体となって取り組んでいくことは重要であるが、事業内容そのものを企画・提案し、地域課題の担い手発掘につなげていく事業を、地域団体自らが発案し取り組んでいくにはまだまだ時間を要する状況にあることから、一旦本事業を廃止する。 【事業実施の必然性】 ・市政改革プランにおいて、複雑で多様化する地域社会が抱える課題について、これまでのように行政が中心となって担うのではなく、行政、市民、地域団体、NPO、企業など多様な主体の協働による取組みを進め、活力ある地域社会づくりをめざすべきことが示されている。 ・地域団体自らの提案による事業としては時期尚早と判断するが、より幅広い事業実施主体が取り組む事業としては必要な事業であるため、上記46番の「地域課題担い手発掘事業」に集約して取り組んで行く。
		42万円	0万円	▲ 42万円					

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
事業目的・概要		26予算③	27要求④	④-③					
48	緑化講習会 ・緑化講習会等の開催を通じ、区民に花と緑のまちづくりに関心を持ってもらい、区内への花と緑の普及啓発並びに緑化推進に努めることにより、わがまち意識の高揚と一層の地域コミュニティづくりを推進し、また花と緑あふれる豊かなまちづくりの推進を目的とする。 【経費内訳(26年度)】 ・講習会材料費 62万円 ・広報物印刷経費 4万円 ・連絡用通信運搬費 1万円 ・会場使用料 2万円	81万円 【予算決算の乖離理由】 ・実施回数の減(4回→3回)	45万円	36万円 ▲13万円	(緑化講習会) ・12月 区内3か所においてグ花のボランティアグループの皆さんの協力のもと、寄植の緑化講習会を開催 (緑化ボランティア育成講習会) ・受講者(10名参加)を募集し、H26年1月から毎月1回開催。天王寺区保健福祉センター前の花壇にバラを植えて、植物の栽培・育成方法について基礎から学び、実践的なスキルを習得 ・12月に緑化ボランティア認証式を開催予定	【目標】 緑化講習会において ・初めて参加した人の割合 40%以上(26年度)	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・家庭での花づくりや、地域で率先して緑化活動に取り組む人材を育成し、花と緑あふれるまちづくりを推進するため、区民に花と緑に興味・関心を持ってもらうきっかけとして有効であることから、継続的に実施する。 ・なお、事業コストについては材料費単価を見直すことにより減とする。
49	種から育てる地域の花づくり事業 ・区民が自分たちの手で種から花を育て、その花を区内の公共施設の様々な場所に植えることで、地域への愛着と自主的なまちづくりへの参加意識を高めながら、潤いのある美しいまちづくりを推進する。 【経費内訳(26年度)】 ・花育成材料費 21万円	59万円 【予算決算の乖離理由】 ・消耗品(栽培用品等)の数量と単価の再検討による節約	41万円	18万円 ▲1万円	・グリーンリー天王寺(区内の緑化リーダー・グリーンコーディネーターを中心として組織された花のボランティアグループ)との協働により、区役所裏の「花づくり広場」で、種から花を育て、成長した花を区内の小学校・公園・消防署等の公共の場に植える	【目標】 種花事業の担い手への参加数が1名以上増	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・地域に根づいた活動であり、27年度も継続的に取り組むこととしているが、メンバーの固定化、高齢化により、種から花を育てる作業(ポットへの移植作業など)について、負担を感じる方もおられることから、新たな人材発掘と育成が必要である。 ・なお、事業コストについては、消耗品の見直しにより縮減を図る。
50	区民まつり 多くの区民が集い交流し、豊かな地域文化を継承する象徴的なイベントとして、区民相互、各種団体間の連帯感の向上を図るとともに、区民の地域への関心を高め、コミュニティの輪を広げることめざし、誰もが気軽に参加できるまつりを開催する。 【経費内訳(26年度)】 ・事業企画・運営、会場設営、広報等委託経費 638万円 ・事業者選定経費 8万円 (選定委員会費按分)	672万円 【予算決算の乖離理由】 ・管理経費の減	664万円	8万円 ▲1万円	○市コミュニティ協会に事業委託 ・5月 第1回企画会議(委員長:区災害救助青年部代表) ・今年度の区民まつりの開催概要について決定 ・7月 第1回実行委員会(委員長:市コミュニティ協会天王寺区支部理事長) ・出店予定者に開催概要の説明 ・9月14日 区民まつり開催(H26年度来場者16,000人) ・11月 第2回実行委員会 ・区民まつりの振り返り	【目標】 初めて参加した人の割合40%以上(26年度)	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・平成26年度のアンケートで、これまで3回以上参加いただいた人の割合が、45.9%でリピーターも多く、また継続開催希望も96.3%との回答があり、定着した催しであり好評であることから、平成27年度も継続的に開催することとしている。 ・ただし、アンケート結果や、実行委員会の振り返りでの区民の意見等を踏まえ、さらに内容を充実した区民まつりを開催していく必要があるものと認識している。
51	区民文化のつどい 区民が日ごろ積み重ねた練習成果を発表する場として、舞台発表や作品展示等、区内各種団体等と連携し、誰もが気軽に文化・芸術に接する機会、参加者間の交流の場として開催する。 【経費内訳(26年度)】 ・事業企画・運営、広報等委託経費 18万円	17万円 【予算決算の乖離理由】 ・管理経費の増	25万円	▲8万円	○市コミュニティ協会に事業委託 ・9月 広報紙 出演団体募集 ・天王寺区内を活動拠点とし、地域コミュニティづくりを担っているコーラス、楽器、ダンス、パトンのアマチュアグループ ・11月8日 区民文化のつどい開催 ・H25年度参加17団体 参加者数179名 観覧者数500名 ・その他事業として歴史観光ウォークを10月19日開催	【目標】 初めて来場した人の割合40%以上(26年度)	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・アンケートによると、コミュニケーションの輪が広がったという意見が多く、またいつまでも発表の場として、この催しを続けてほしいというご意見もあったことから、定着した催しであり、27年度も継続的に実施する。 ・しかしながら、70歳以上の来場者が64%を占め、若い方にも観覧できるよう、出し物をもっと工夫してほしいという意見もあることから、参加者層を拡大するための工夫や内容の充実を図っていく。 【事業実施の必然性】 ・区民まつり等、各コミュニティ育成事業の開催・運営を各種団体等と協働して行うことは、市民交流やコミュニティづくりの促進を図るとともに、心のふれあう温かい地域社会づくりを進め、区民文化の向上と地域の活性化を図ることができると認識している。
		69万円	56万円	▲13万円		【達成状況】 緑化講習会において ・初めて参加した人の割合 17%(25年度)	【意見】 緑化講習会参加者から聴取した意見(25年度) ・植物の知らないことが知れてよかった。 ・色彩がよく、長期間楽しめそう。 ・初めて参加しました。スタッフの皆さんからアドバイスをいただき、よくわかりました。皆さんが愛情を持って、花に取り組んでいるのが、よくわかりました。	【意見】 ●つなげ隊 興味あり率62%・興味なし率38% ●区民モニター 認知度:知っている(31%)、知らない(65%) 未回答(4%) 方向性:拡大(12%)、このまま(49%)、縮小(5%)、未回答(34%)	【事業実施の必然性】 ・花と緑のまちづくりに関心を持ち、緑化推進に貢献いただく区民を増やすことは、花と緑あふれる美しいまちづくりにつながり、ひいてはわがまち意識の高揚と地域コミュニティの活性化につながると認識している。
		21万円	20万円	▲1万円		【達成状況】 ・2名増 (26年10月末時点)	【意見】 25年度は聴取できていない。	【意見】 ※上記「緑化講習会」と同じ	【事業実施の必然性】 ・自らの手で種から花を育て、その花で区内の公共施設等に植えることを通じ、花と緑あふれる美しいまちづくりに貢献しているという自覚が芽生え、自分たちのまちを自らよくしていこうという意識の高まりにもつながっていると考える。
		646万円	645万円	▲1万円		【達成状況】 初めて参加した人の割合26.1%(25年度)	【意見】 ○参加者からの意見(26年度)(回答数244名) ・地域のコミュニティづくりにつながると感じるか。 感じる(85.3%)、感じない(2%)、どちらともいえない(12.7%)	【意見】 ●つなげ隊 興味あり率74%・興味なし率26% ●区民モニター 認知度:知っている(76%)、知らない(22%) 未回答(2%) 方向性:拡大(6%)、このまま(60%)、縮小(5%)、未回答(29%)	【事業実施の必然性】 ・区民まつり等、各コミュニティ育成事業の開催・運営を各種団体等と協働して行うことは、市民交流やコミュニティづくりの促進を図るとともに、心のふれあう温かい地域社会づくりを進め、区民文化の向上と地域の活性化を図ることができると認識している。
		18万円	18万円	0万円		【達成状況】 初めて来場した人の割合32%(25年度)	【意見】 ○来場者からの意見(25年度)(回答数129名) ・本日の集いに参加されてよかったか。 とてもよかった(34%)、よかった(51%) まあまあ(8%)、あまりよくなかった(2%) わるかった(0%)、未回答(5%)	【意見】 ●つなげ隊 興味あり率54%・興味なし率46% ●区民モニター 認知度:知っている(29%)、知らない(67%) 未回答(4%) 方向性:拡大(4%)、このまま(51%)、縮小(12%)、未回答(33%)	【事業実施の必然性】 ・区民まつり等、各コミュニティ育成事業の開催・運営を各種団体等と協働して行うことは、市民交流やコミュニティづくりの促進を図るとともに、心のふれあう温かい地域社会づくりを進め、区民文化の向上と地域の活性化を図ることができると認識している。

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
	事業目的・概要	26予算③	27要求④	④-③					
52	区民合唱団 音楽を通して心触れ合う温かい地域社会づくりを進めるとともに、区民文化の向上と地域の活性化を図る機会として開催する。 【経費内訳(26年度)】 ・事業企画・運営、広報等委託経費 35万円 ・事業者選定経費 ・委員謝礼 1万円 (選定委員会費按分)	34万円	35万円	▲1万円	○市コミュニティ協会に事業委託 ・区民合唱団は、平成5年に結成され、区民センターを拠点に活動。チャリティコンサートは、結成当初から開催。その他、現在区民文化のつどいにも出演。(H25年度入会2名、退会2名年度末時点団員数81名) ・今年度は、第22回区民合唱団チャリティコンサートとして、H27年3月15日開催予定 ・H25年度来場者数900人	【目標】 新規加入団員1名以上 【達成状況】 ・新規1名加入 (26年10月末時点)	【聴取方法】 ○来場者からの意見(25年度)(回答数328名) ・本日の集いに参加されてよかったか。 とてもよかった(71%)、よかった(27%)、まあまあ(1%) あまりよくなかった(0%)わるかった(0%) 未回答(1%)	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・本事業は、平成26年度で開催23年目を迎え、毎年の恒例行事として、定着しており、27年度も継続的に実施する。 ・平成25年度は新たにミュージカルにも挑戦し、好評を得ており、内容にも工夫が見られるが、メンバーの固定化、高齢化は進んでいることから、メンバーの新規加入等に向け取組む必要がある。 【事業実施の必然性】 ・音楽を通じて、区民とのコミュニティの輪を広げ、地域の音楽文化に寄与することで、天王寺区の芸術文化の向上にも資するものと認識している。
53	スポーツフェスタ 子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる区民主体のスポーツ・レクリエーション活動を通じて、区民の交流の促進を図る場として開催する。 【経費内訳(26年度)】 ・事業企画・運営、会場準備、広報等委託経費 28万円	26万円	19万円	7万円	○市コミュニティ協会に事業委託 ・体育厚生スポーツ推進協議会やスポーツクラブ等、スポーツ関係団体の協力のもと、子どもから高齢者まで、初心者でも参加できるスポーツや、ニュースポーツ等約10種のスポーツを体験してもらい、スポーツを始めるきっかけや健康づくりに資することを目的に開催 ・9月28日開催 (H26年度参加者 206人)	【目標】 初めて来場した人の割合40%以上(26年度) 【達成状況】 初めて来場した人の割合50.8%	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・体育厚生 スポーツ推進協議会と各スポーツクラブが協働・連携して開催できる事業であり、平成27年度も継続的に実施する。 ・しかしながら、アンケートでは、「もっと回数や種目を増やして欲しい」、「開催時間を長くして欲しい」などの意見もあることから内容については工夫していく。 【事業実施の必然性】 ・区民まつり等、各コミュニティ育成事業の開催・運営を各種団体等と協働して行うことは、市民交流やコミュニティづくりの促進を図るとともに、心のふれあう温かい地域社会づくりを進め、区民文化の向上と地域の活性化を図ることができると認識している。
54	子ども育成を通じたコミュニティ振興 子どもたちの文化・芸術への関心や地域への愛着を育み、人と人のふれあいの大切さを認識できる場とするとともに、子どもの育成を通じて大人同士のコミュニケーションを図る場として開催する。 【経費内訳(26年度)】 ・事業企画・運営、会場準備、広報等委託経費 47万円	44万円	48万円	▲4万円	○市コミュニティ協会に事業委託 ・子供会指導者や地域のボランティア、保護者等がサポートし、子どもたちが、ただ参加するだけでなく、運営にも参加させる事業を開催。子どもたちの自主性・主体性を育むとともに、世代間交流を促進 ・たこづくり教室、たこあげ大会 ・新春書初め大会 ・子ども大会・子ども運動会の実施 ・H25年度参加者数 ・たこづくり教室191名 ・たこあげ大会170名 ・新春書初め大会170名 ・子ども大会560名 ・子ども運動会400名	【目標】 初めて来場した人の割合40%以上(26年度) 【達成状況】 初めて来場した人の割合 ・たこづくり教室 36% ・書初め大会 24% ・子ども大会 36% ・子ども運動会 20%	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・各事業ごとのアンケートで、参加者からは「良かった」という意見が大半であり、また保護者から、子どもたちにとって良い経験になるとなどの意見があがっていることから、子どもを対象としたイベントとして、平成27年度も実施する。 ・ただし、コミュニティ育成事業として実施している事業の中で、子ども分野の実施事業数は他分野に比べ多いことから、事業数の縮減を図ることとしている。 【事業実施の必然性】 ・区民まつり等、各コミュニティ育成事業の開催・運営を各種団体等と協働して行うことは、市民交流やコミュニティづくりの促進を図るとともに、心のふれあう温かい地域社会づくりを進め、区民文化の向上と地域の活性化を図ることができると認識している。

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
事業目的・概要		26予算③	27要求④	④-③					
55	区民ギャラリー ・区民でアマチュア創作活動をしているグループ・団体等に発表の場を提供するとともに、区民が参加する文化・芸術活動に係る成果及び区政事業に係る成果の展示を目的とする。 【経費内訳(26年度)】 ・事務用コピー代等消耗品 1万円 ・案内用郵便代 1万円	8万円	7万円	1万円	・H26年度のギャラリー利用について、区広報紙1月号で募集。(1月末日締切) ・アマチュア創作活動をしているグループ、団体等の絵画、写真、書などを、原則2週間以内で、展示。H26年度は、24団体が利用予定。 ※展示枠は、23枠	【目標】 ・応募団体数 25団体以上(26年度) 【達成状況】 ・応募団体数 24団体(25年度)	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・アンケート調査では、日頃の成果の発表の場として、継続して欲しいとの要望も高く、毎年ご利用いただく展示団体も多いことも踏まえ、27年度も継続的に実施する。なお、未利用の方も含め、幅広い年齢層の方々にご利用いただけるよう、周知方法を工夫していく。
		2万円	3万円	1万円					
56	区における人権啓発推進事業 天王寺区における人権啓発について、天王寺区人権啓発推進会をはじめ区内各種団体と連携して、広く区民の人権意識の高揚を図っていく。 【経費内訳(26年度)】 ・人権啓発経費 5万円(コピー用紙等) ・総会、連絡会郵送料 2万円	39万円	20万円	19万円	・全体計画:天王寺区における人権啓発推進事業を天王寺区人権啓発推進会をはじめ区内各種団体と連携 ・事業計画:4月1日から平成27年3月31日(事業スケジュール) ・5月 人権啓発推進会・推進員連絡会にて事業内容の確定 ・9月 区民まつりにおける人権啓発 その他、区広報紙、区役所庁舎前への懸垂幕の掲出などで人権意識の高揚を図っていく。	【目標】 ・区民まつりや各種団体の行事のちらしやプログラムなどへの標語の掲載 年10回以上 【達成状況】 懸垂幕等 ・社会を明るくする運動強化月間等 5回 広報誌記事 ・人権週間等 5回 区民まつりでの啓発 ・ブース出展 1回	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・人権啓発の取組については、区人権啓発推進会と連携しながら地域に密着した人権啓発活動を実施する必要があり、広く区民の人権意識を高揚させるため、引き続き、効果的な広報を実施していく。 ・なお、事業コストについては、消耗品・郵送料の見直しにより縮減を図る。
		7万円	5万円	▲2万円					
57	学校体育施設開放事業 区内の小・中学校(小学校8校、中学校3校)の体育館・グラウンドを地域に開放し、地域住民の皆さんに継続的に、ソフトボール、バレーボールなどスポーツ活動の場を提供する。 【経費内訳(26年度)】 ・実施要綱作成等事務費 5万円 ・体育館照明電気代等 45万円 ・学校体育施設開放事業運営委員会経費 165万円 (防球フェンス、白線用石灰等)(全11校 15万円/校)	226万円	205万円	21万円	・4月 区と学校体育施設開放事業運営委員会との委託契約締結 ・4月～27年3月 各学校での学校開放事業の実施 ・27年2月 各学校運営委員長対象の全体説明会	【目標】 年間活動実人数の増加(27年度) 【達成状況】 年間活動実人数 2,783人(25年度) ※年間延べ利用人数 71,868人(25年度)	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・延べ利用人数も7万人を上回っており、現在、学校施設の使用可能な範囲で学校を利用いただいていると認識しており、27年度も継続的に実施することとしている。 ・しかしながら、一部の人が使っていないとの意見もあり、これまでに利用したことがない方を含め、幅広い年齢層の方々にご利用いただくよう運営委員会に働きかけるとともに、延べ人数ではない年間利用実人数の増加をめざす。 ・なお、事業コストは、消耗品の見直しにより縮減を図る。
		215万円	211万円	▲4万円					
					【意見】 展示者からの意見(26年度) ・作品を見ていただけよかった。 習いたいという人が現れた。 ・若い世代で、子どもを幼稚園に通わせたいと思っている家庭、他の地域から来られた方への情報提供になる。 ・手作りの作品を見てもらうことで、今後の作品づくりの活力につながった。 ・区民のカルチャーとしてずっと継続してほしい。	【意見】 該当意見なし	【意見】 該当意見なし	【事業実施の必然性】 ・区内でアマチュア創作活動をしているグループ・団体等に発表の場を提供することで、自分たちの制作意欲の向上や新規加入者も見込まれ、区民が参加する文化・芸術活動の促進にもつながると認識している。	
					【意見】 (区民まつりでの人権に関するアンケート) ・人権啓発で取りあげてほしいテーマ(ご意見が多かったもの)いじめ問題、高齢者の人権、子どもの人権、女性の人権 ・その他の意見 高齢者が生活に困難にならないように考えてほしい	【意見】 該当意見なし	【意見】 ●つなげ隊 興味あり率42%・興味なし率58% ●区民モニター 認知度:知っている(38%)、知らない(60%) 未回答(2%) 方向性:拡大(12%)、このまま(48%)、縮小(6%)、未回答(34%)	【事業実施の必然性】 ・現在、学校体育施設の延べ利用人数も目標の7万人を上回るなど、多くの方々に学校体育施設を活用して、スポーツを行う機会を提供できている。 ・また、スポーツ基本法にも、学校の体育施設を学校の教育に支障のない限り、一般のスポーツのための利用に供するよう努めなければならない旨が定められており、施設管理者である学校の協力を得ながら今後とも継続していく必要があると考えている。	

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
	事業目的・概要	26予算③	27要求④	④-③					
58	生涯学習の推進 【経費内訳(26年度)】 ・地域連携講座講師謝礼 48万円 ・生涯学習ルーム運営費 (インク等事務用品) 40万円 (5万×8校) ・区生涯学習発表会経費 コピー用紙等経費 10万円 ・区広報紙作成経費 12万円 ・区広報紙新聞折込 1万円 ・損害保険料 1万円	145万円	132万円	13万円	<p>【予算決算の乖離理由】<input type="checkbox"/></p> 生涯学習ルーム事業・地域連携支援事業講座の実施 ・毎月 生涯学習推進員連絡会、区広報紙で生涯学習ルームの紹介、区HPで生涯学習関連施設の講座紹介 ・7月 区広報紙特集ページ掲載 ・9月 区民まつり出店 ・11月 生涯学習ルーム発表会、区民文化のつどいで展示、大阪市生涯学習フェスティバルにて舞台発表・展示 ・12月 中央ブロック生涯学習ルーム作品展 3月 中央ブロック生涯学習ルーム舞台発表、区民ギャラリーの展示、3校合同コーラス演奏会	<p>【目標】自己実現や生きがいづくりに向けた自主的な学習や文化活動を行ったことのある区民の割合の増加 平成28年度90%</p> <p>【達成状況】自己実現や生きがいづくりに向けた自主的な学習や文化活動を行ったことのある区民の割合 84%(平成23年度)</p>	<p>【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()</p> <p>【意見】 (生涯学習ルーム発表会のアンケート)発表会に参加した感想 ・とてもよかった、よかった 130件(99%) 日頃の成果がよく表れてよかった(2件) ・悪かった 1件(1%) 参加者が少ない 生涯学習ルームを知っていますか ・参加している 71件(54%) ・知っているが参加していない 28件(21%) ・知らなかった 13件(10%)</p>	<p>【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input checked="" type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)</p> <p>【意見】 ●つなげ隊 興味あり率57%・興味なし率43% ●区民モニター 認知度:知っている(44%)、知らない(53%) 未回答(3%) 方向性:拡大(12%)、このまま(49%)、縮小(6%)、未回答(33%)</p>	<p>【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定)</p> <p>【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>【上記の選択理由】 ・生涯学習の推進は、教育基本法や社会教育法における生涯学習の奨励の趣旨を踏まえ、地域の方からなる生涯学習推進員の協力を得ながら、地域の方が参加できる講座の実施等を行っているもので、生涯にわたっての学習のみならず、学びを通じた地域のコミュニティづくりに貢献しており、多くの活動実績があることから、27年度も引き続き実施する。</p> <p>【事業実施の必然性】 教育基本法、社会教育法の趣旨、及び生涯学習大阪計画に基づき、生涯学習推進員の協力を得ながら引き続き実施していく。</p>
59	PTA・社会教育関係団体対象学習会助成事業 【経費内訳(26年度)】 ・講師謝礼 11万円	12万円	6万円	6万円	<p>【予算決算の乖離理由】<input type="checkbox"/></p> PTAをはじめとする社会教育関係団体や生涯学習を目的とするグループが、区役所と協働して人権や家庭教育に関する学習会を実施する場合に、講師等謝礼を一部負担する。 ・学習会終了後 実施報告書の提出	<p>【目標】単位PTA合同による学習会の開催 1回(27年度)</p> <p>【達成状況】合同実施に向け検討中</p>	<p>【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()</p> <p>【意見】 (学習会参加者のアンケート) ・子育て中の親にとって受講機会を設けていただけて嬉しい。(1件) ・今後もこういった機会を設けてほしい。(1件) ・自分の子育てを振り返るきっかけとなった。(1件)</p>	<p>【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)</p> <p>【意見】 該当意見なし</p>	<p>【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定)</p> <p>【事業の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>【上記の選択理由】 ・これまで、本事業を活用した学習会の開催は特定の単位PTAでの開催に偏っていることから、平成27年度においては、幅広く参加いただけるよう、単位PTA合同での学習会開催を働きかけ、見直したうえで実施することとしている。 ・こうしたことから、事業コストについても学習会の回数減に伴い講師謝礼金の縮減を行っている。</p> <p>【事業実施の必然性】 ・教育委員会の事務の委任等に関する規則に基づく区長の補助執行事務であるため、継続して実施する必要がある。</p>
60	新たな地域コミュニティ支援事業(中間支援組織の運営) 【経費内訳(26年度)】 ・地域活動協議会自律運営支援(会計・広報等事務局業務支援、担い手育成、自主財源獲得、地域連携等各種支援)委託経費 1,436万円 ・事業者選定経費 委員謝礼等 21万円	0万円	0万円	0万円	<p>【予算決算の乖離理由】<input type="checkbox"/></p> ○地域活動協議会に対する総合支援 ・地活協間の情報交換会の開催(補助金、自主財源づくりなど)年3回 8月及び11月以降 ・活動別交流会開催(広報・会計に関することなど)年2~3回(11月以降) ○各地活協支援 ・会計支援、事務支援、広報支援等 各地域随時	<p>【目標】中間支援組織による支援が役だったと感じる地域活動協議会の割合 60%以上</p> <p>【達成状況】中間支援組織による支援が役だったと感じる地域活動協議会の割合 81%(25年度)</p>	<p>【聴取方法】 <input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()</p> <p>【意見】 H26年度(回答数77名) ・まちづくりセンター(中間支援組織)の支援により、支援を受ける前よりも自律的な地域運営に取組めていると思うか。 そう思う(28.8%)、ややそう思う(26.0%)、あまりそう思わない(26.0%)、思わない(6.8%)、わからない(12.3%)</p>	<p>【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input checked="" type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)</p> <p>【意見】 ●区政会議 ・区役所の地域担当者の顔が見えない。</p>	<p>【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定)</p> <p>【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>【上記の選択理由】 ・各地域活動協議会から求められる支援は多岐に渡っており、引き続き区と連携を図り、中間支援組織を活用する必要があることから、平成27年度も継続的に実施するが、事業コストについては、アドバイザー出勤日数の精査等に伴い、事業委託料の縮減を図る。</p> <p>【事業実施の必然性】 ・地域活動協議会の自律的運営を軌道に乗せるため、民間事業者の専門的な知識やノウハウを幅広く活かす観点から、引き続き地域ニーズや実情を勘案しつつ、区と連携を図り、中間支援組織を活用する必要があると認識している。</p>

施設の管理運営、事務経費等

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性		
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見			
61	区庁舎光熱水費	1,895万円	2,163万円	▲ 268万円	・区庁舎の光熱水費に関して、継続的な節減の取組実施 ・光熱水費 庁舎内事務室スペースにおける照明の点灯箇所減の継続 LED化の推進	【目標】 ・区庁舎内照明のLED化の推進100% (費用対効果を勘案し、順次導入) 【達成状況】 ・区庁舎各階のエレベータ前、トイレ内の照明のLED化の完了(25年度)	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input checked="" type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・燃料費の高騰等により電気代、ガス代値上げの可能性があるが、区民の意見を参考に、来庁者が庁舎を快適にご利用いただくことを念頭に置き、光熱水費の節減を行っていく。 【事業実施の必然性】 ・区庁舎利用者のために適切な庁舎内環境を整える必要がある。		
	区役所、保健福祉センター分館の庁舎管理に係る光熱水費(電気・ガス・水道料金)	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・庁舎管理に関する電気・ガス料金の増 270万円 (1,699万円→1,969万円)	2,268万円	2,163万円						▲ 105万円	【事業費の増減理由】 ・電気代 ▲96万円 (1,528万円→1,432万円) ・ガス代 ▲15万円 (552万円→537万円) ・水道代 6万円 (188万円→194万円)
	【経費内訳(26年度)】 ・電気代 1,528万円 ・ガス代 552万円 ・水道代 188万円	【事業費の増減理由】 <input type="checkbox"/> ・保守点検費の入札落ち減 ▲255万円 (2,075万円→1,820万円) ・建物修繕執行減による減 ▲66万円 (206万円→140万円)	2,631万円	2,115万円						▲ 516万円	
62	区庁舎建物修繕等	2,329万円	1,981万円	348万円	・来庁者及び職員が、公共施設としての区役所庁舎を安心・安全、快適に利用できるよう適切に維持管理	【目標】 来庁者の満足度 70%以上 【達成状況】 ・来庁者アンケートの満足度:「満足」、「やや満足」の割合が86%(25年度)	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・庁舎を安心・安全に利用するために、庁舎の修繕や法定点検を行う必要があり、また、ご来庁される区民の方々に快適に庁舎をご利用いただくためには、清掃業務は必要であることから、27年度も継続的に取り組むこととしているが、事業コストについては27年度はレイアウト変更の予定はないことから縮減を図る。 【事業実施の必然性】 ・区庁舎利用者のために適切な庁舎内環境を整える必要がある。		
	区役所、保健福祉センター分館の庁舎管理に係る保守点検費用(電気設備・エレベータ・空調設備・消防設備等)	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・保守点検費の削減 ▲255万円 (2,075万円→1,820万円) ・建物修繕執行減による減 ▲66万円 (206万円→140万円)	2,631万円	2,115万円						▲ 516万円	
	【経費内訳(26年度)】 ・保守点検費 1,856万円 ・庁舎清掃費 452万円 ・庁舎修繕費 323万円	【事業費の増減理由】 ・レイアウト変更 ▲323万円(皆減) ・建物修繕料の減 ▲105万円 (191万円→86万円)	2,631万円	2,115万円						▲ 516万円	
63	区民センター管理運営	3,540万円	3,429万円	111万円	・清掃等施設総合管理業務は、区の直接執行とし、貸館運営業務、軽微な施設管理等会館管理運営業務と各種講習会開催等コミュニティ活動の振興等に係る事業は、市コミュニティ協会を指定管理者とする。	【目標】 ・利用率 75%以上 【達成状況】 ・利用率 H23 76.1% H24 75% H25 71.3%	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・現指定管理者(市コミュニティ協会)の指定期間は、27年度末までの2年間であり、平成27年度も継続的に取り組むこととしている。 【事業実施の必然性】 ・区民活動の拠点として活発に利用され、地域力の向上をはかるべく、運営される施設である。 (※参考「コミュニティ振興施設条例」第2条:コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与することを目的とする。)		
	コミュニティ活動の振興及び地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより、市民相互の交流を促進し、連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与すること、地域力の向上を図る。	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・管理手法の見直し(保守点検業務を職員が実施)による減	3,248万円	3,248万円						0万円	
	【経費内訳(26年度)】 ・指定管理者管理運営代行料、施設清掃経費 2,932万円 ・建物修繕料 43万円 ・事務用品等経費 4万円 ・指定管理者選定経費(委員報酬等) 20万円 ・非常勤嘱託職員雇用経費等 249万円	【事業費の増減理由】	3,248万円	3,248万円						0万円	
63	コミュニティ活動の振興及び地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより、市民相互の交流を促進し、連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与すること、地域力の向上を図る。	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・管理手法の見直し(保守点検業務を職員が実施)による減	3,248万円	3,248万円	0万円	【目標】 ・利用率 75%以上 【達成状況】 ・利用率 H23 76.1% H24 75% H25 71.3%	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 【上記の選択理由】 ・現指定管理者(市コミュニティ協会)の指定期間は、27年度末までの2年間であり、平成27年度も継続的に取り組むこととしている。 【事業実施の必然性】 ・区民活動の拠点として活発に利用され、地域力の向上をはかるべく、運営される施設である。 (※参考「コミュニティ振興施設条例」第2条:コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与することを目的とする。)		
	【経費内訳(26年度)】 ・指定管理者管理運営代行料、施設清掃経費 2,932万円 ・建物修繕料 43万円 ・事務用品等経費 4万円 ・指定管理者選定経費(委員報酬等) 20万円 ・非常勤嘱託職員雇用経費等 249万円	【事業費の増減理由】	3,248万円	3,248万円	0万円						
	【経費内訳(26年度)】 ・指定管理者管理運営代行料、施設清掃経費 2,932万円 ・建物修繕料 43万円 ・事務用品等経費 4万円 ・指定管理者選定経費(委員報酬等) 20万円 ・非常勤嘱託職員雇用経費等 249万円	【事業費の増減理由】	3,248万円	3,248万円	0万円						

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
事業目的・概要		26予算③	27要求④	④-③					
64	区役所備品・消耗品等	1,803万円	1,496万円	307万円	<ul style="list-style-type: none"> 備品、消耗品等一括購入や安価な商品の選択在庫の管理方策の実施 経費節減に向け検討し、できるものから順次実施 	【目標】 一般管理費における消耗品費の対前年度比減	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input checked="" type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	業務上必要な一般諸経費 【経費内訳(26年度)】 ・事務用品等経費 618万円 ・郵送、通話料 501万円 ・OA機器リース料 530万円 ・庁舎案内等業務 460万円 ・レイアウト変更等に伴う経費 143万円	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・OA機器リース、消耗品入札落ち減 ▲179万円(899万円→720万円) ・案内板等内容変更無しによる皆減 ▲61万円 ・電話執行減による減 ▲37万円(345万円→308万円)	2,252万円 1,865万円 ▲387万円	【事業費の増減理由】 ・事務用品等消耗品の減 ▲418万円(680万円→262万円) ・アルバイト雇用の増 127万円(皆増)		【達成状況】 消耗品費対前年度比 ▲121万円 (540万円(24年度)→419万円(25年度))	【意見】 ・来庁者からの意見(25年度～) ・来庁者が待つ所が広くなり、キッズスペースなど新しいことに取り組んでいる姿勢が見られる(1人)	【意見】 ※62「区庁舎建物修繕等」と同じ	【上記の選択理由】 ・区役所業務を執行するために必要な消耗品や備品代、電話代等の通信運搬費、パソコンやプリンター等のリース代等であり一定必要な経費であるが、27年度はさらに縮減を図ることとしている。
65	宿直業務	1,290万円	1,208万円	82万円	<ul style="list-style-type: none"> 区役所開庁時間外における庁舎管理 区役所の開庁時間外における戸籍の届出等の受付 災害時等の緊急時連絡業務 	【目標】 ・開庁時間外における適切な庁舎管理を実施し、宿直業務に起因するトラブルを1件も発生させない。	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	<ul style="list-style-type: none"> 区役所の開庁時間外における庁舎管理 区役所の開庁時間外における戸籍の届出等の受付 災害時等の緊急時連絡業務 【経費内訳(26年度)】 ・宿日直職員報酬 1,210万円 ・宿日直職員交通費 51万円	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・宿日直職員報酬の減 ▲71万円 (1,220万円→1,149万円) ・宿日直職員通勤交通費の減 ▲11万円 (70万円→59万円)	1,261万円 1,273万円 12万円	【事業費の増減理由】 ・報酬及び交通費の増		【達成状況】 庁舎管理及び戸籍の届出受領等は事故・事件なく適切に行えている。	【意見】 該当意見なし	【意見】 該当意見なし	【上記の選択理由】 ・開庁時間外の適切な庁舎管理や緊急時連絡業務、戸籍の届出受付等を実施する必要があり、27年度も継続的に取り組むこととしている。
66	職員研修	42万円	6万円	36万円	<ul style="list-style-type: none"> 企画力、プレゼンテーション力の向上のための研修 ⇒実施しない予定 ・接遇研修 ⇒9月～11月にモニタリング、机上研修、実地研修等を実施予定 	【目標】 ・職員のCS自己チェックシート:「できている」、「概ねできている」の割合が90%以上 ・来庁者アンケートの満足度:「満足」、「やや満足」の割合が90%以上	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input checked="" type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input type="checkbox"/> その他()	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持
	<ul style="list-style-type: none"> 職員の企画力、プレゼンテーション力を向上させるため、外部講師等による研修を実施する。 区役所来庁者等に対する窓口サービスを向上させるため、接遇研修を実施する。 【経費内訳(26年度)】 ・職員研修の業務委託 22万円 ・講師謝礼等 7万円	【予算決算の乖離理由】 <input type="checkbox"/> ・外部講師による職員研修の未実施による研修費用の減(職員塾(職員間の勉強会)により対応)及び接遇研修の研修費用の減	29万円 29万円 0万円	【事業費の増減理由】		【達成状況】 ・職員のCS自己チェックシートにおける「できている」「概ねできている」の割合が93.1%(25年度) ・来庁者アンケートの満足度:「満足」、「やや満足」の割合が86%(25年度)	【意見】 平成25年度「市民の声」 ・対応が良い、親切に感謝 6件 ・高圧的な態度、窓口(電話)対応が不愉快 5件 ・知識・説明不足 4件 ・障がい者への対応など配慮不足 5件 ・身なり・身だしなみへの苦情 1件 平成26年度「市民の声」 ・対応が良い、親切な対応に感謝 3件 ・客への態度が不愉快、不親切な対応 3件 ・知識・説明不足 2件 ・窓口のたらい回し 1件	【意見】 ●つなげ隊 接客・電話対応が良い 27件 (職員の接客など数年前に比較したらもの凄く良くなったと思う、など) 接客・電話対応の改善 14件 (電話対応が悪かった、職員の笑顔が少ない、など)	【上記の選択理由】 ・27年度も継続的に取り組むこととしているが、職員の企画力等の向上については、職員塾(職員間の勉強会)の手法だけではなく、外部講師による最新の手法等も理解し、企画力、プレゼンテーション力の向上につなげていく。 ・また、職員の接遇の向上については、研修内容をより充実させる必要があるものと考えており、26年度の取組を踏まえ、27年度の研修内容等について検討していく。

番号	事業名 (26年度)	予算・決算等の状況			具体的取組 (26年度の取組 (予定))	目標の達成状況	区民の声の聴取		区民の声を踏まえた今後の方向性
		25予算①	25決算②	①-②			事業の参加者等からのご意見	事業の参加者等以外の区民の方々のご意見	
事業目的・概要		26予算③	27要求④	④-③					
67	市民サービス向上に向けた保健福祉センターの窓口整備事 子育て支援室と健康推進担当との連携強化を図るとともに、来庁者スペースの拡大による窓口整備により区民の利便性とサービスの向上を図る。さらに待ち時間を短縮し、かつ有効活用するため、福祉・健康等の情報発信スペースを整備するなど、来庁者の快適度の向上を図る。	0万円	0万円	0万円	<ul style="list-style-type: none"> ・7月 工事見積依頼 ・9月～10月 実施設計 ・12月 契約 ・1月～2月 改修工事 ・3月 アンケート実施 	【目標】 ・2階フロアがわかりやすく便利になった、快適であったと感じる来庁者の割合80%以上 【達成状況】 ・7月 工事見積依頼 ・9月～10月 実施設計	【聴取方法】 <input type="checkbox"/> 利用者・参加者等からの意見 <input type="checkbox"/> 事業の協力者(運営スタッフ)等の意見 <input type="checkbox"/> 各課に直接寄せられる意見(ご意見箱など) <input checked="" type="checkbox"/> その他(来庁者窓口アンケート)	【聴取方法】 <input checked="" type="checkbox"/> あなたの声をつなげ隊 <input type="checkbox"/> 区政会議 <input type="checkbox"/> 区民モニター(区政評価員)	【事業コストの方向性】 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 (年度・未定) 【事業の方向性】 <input type="checkbox"/> 手段・方法・内容の見直し <input type="checkbox"/> 実施主体の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 現状維持
		424万円	0万円	▲ 424万円					
【経費内訳(26年度)】 ・改修工事経費 421万円 ・事務用品等経費 3万円		【事業実施の必然性】 ・子育て支援室と健康推進チームの連携強化、来庁者スペースの拡大、福祉・健康等の情報発信スペースの整備をすることは、市民サービスの向上のため必要であるが、本事業は、上記記述のとおり26年度で完了する。							